

○秋田市の現況

1 地勢

秋田市は、本州の東北、秋田県の日本海沿岸地域の中央部に位置しており、905.67km²の市域を持ち、緑豊かな山と川、海などの自然環境に恵まれています。

市街地は秋田平野の中央部に広がり、田園地帯が市街地を取り囲んでいます。東部には、標高1,170.5mの太平山をはじめ、秋田杉やブナにおおわれた出羽山地が広がり、峠谷峡や筑紫森といった景勝地が点在しています。

海岸線は単調であり、延長約23.5km、海岸線から1～2kmには、砂丘地が南北に走っています。

南東部から北西部にかけて雄物川が貫流し、流域には平坦で生産力の高い肥沃な耕地が広がっています。



2 歴史

秋田市の開発は、天平5年(733年)、時の政府が北辺の政治や交易の拠点として高清水の丘に出羽柵、後の秋田城を設置したことにさかのぼります。

秋田城は、当時、中国東北地方に位置していた渤海国をはじめとする大陸との外交窓口としての役割も担っていたと考えられています。

中世には、安東氏が現在の土崎地区に湊城を構え、土崎湊は、重要な港を数え上げた三津七湊(さんしんしちそう)に名を連ねる全国有数の港町として栄え、地域の政治・経済・文化の中心として繁栄しました。

その後、慶長7年(1602年)、佐竹氏が常陸から秋田へ国替えとなり、現在の千秋公園の地に新たに久保田城を築城するとともに、今日の中心市街地の原型となる城下町を建設しました。

久保田城下町は、藩政期を通じ政治の拠点として、また、土崎湊を通じた北前船航路や雄物川水運の物流拠点として繁栄し、そのにぎわいや活発な交流が、今日に息づく豊かな文化をはぐくんできました。

明治以降は、県庁所在地として引き続き拠点都市としての機能を担い、明治22年(1889年)に市制を施行した後は、周辺町村との合併や雄物川放水路の開削、秋田港と秋田運河の改修、工業地帯の造成、秋田新幹線をはじめとする交通運輸機関の整備などにより、市勢はめざましい発展を遂げました。

このような歴史により、北日本、日本海沿岸地域の要となる都市としての機能を培ってきた秋田市は、平成9年(1997年)に中核市に移行、17年(2005年)には旧河辺町・旧雄和町と合併し、21年(2009年)には市制120周年を迎えました。

3 産業構造

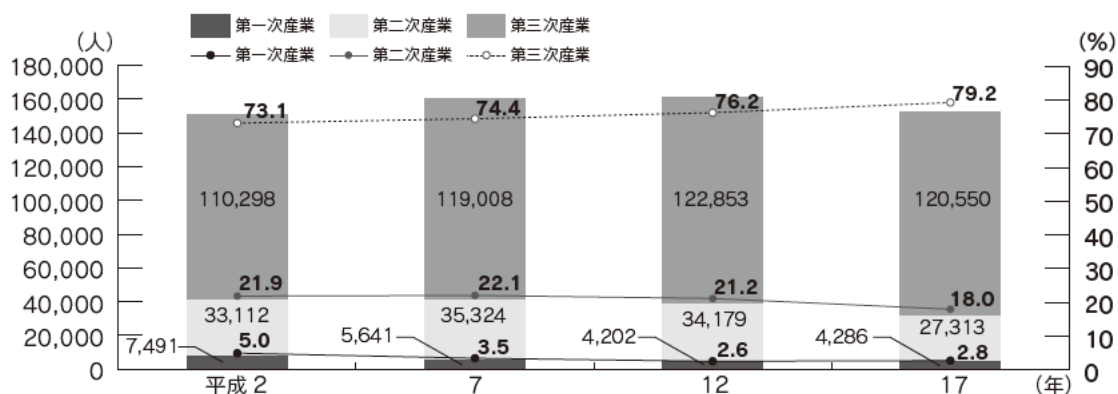
(1) 全体概要

産業別の就業者数の推移について、平成2年以降の国勢調査結果で見ると、第一次産業と第二次産業への就業者数が減少し、第三次産業への就業者数は増加しています。具体的には、全就業者数に対する第一次産業の就業者数の割合は、2年の5.0%から17年には2.8%に減少しています。第二次産業の就業者数の割合は、2年の21.9%から7年には22.1%に上昇したものの、17年には18.0%に減少しています。第三次産業の就業者数の割合は、73.1%から79.2%に増加しています。

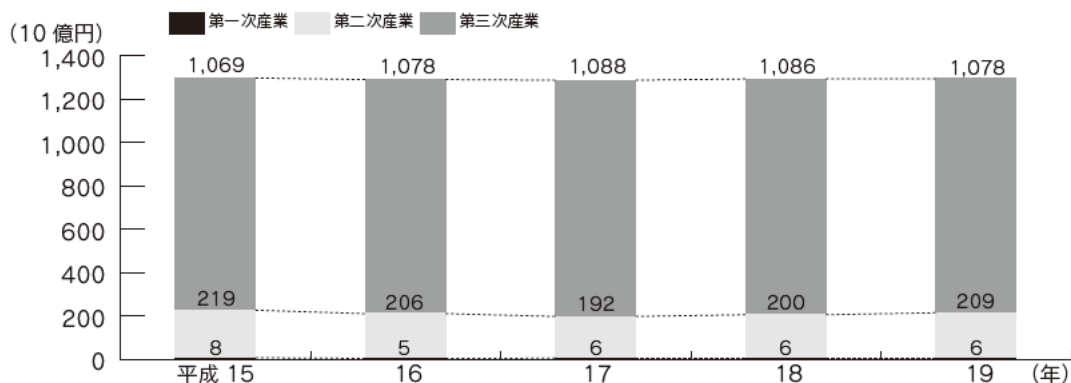
また、産業別市内総生産は、経済情勢の変化の影響を受けながらも、約1兆2千億円とほぼ横ばいで推移しています。

具体的には、第一次産業は、15年は約83億円の生産額でしたが、平成16年以降は約60億円程度で推移しています。第二次産業は、15年には約2,192億円でしたが、17年には約1,922億円まで減少しました。その後、増加に転じ、19年には約2,096億円まで増加しています。業種別で見ると、特に建設業の減少が大きくなっています。第三次産業は、17年には約1兆882億円となっていました。その後、19年には約1兆783億円まで約100億円程度減少しています。業種別で見ると、民間非営利サービス生産者の増加割合が高くなっているものの、卸売・小売業および金融・保険業が下落しています。

産業3区分別従業者数とその割合の推移



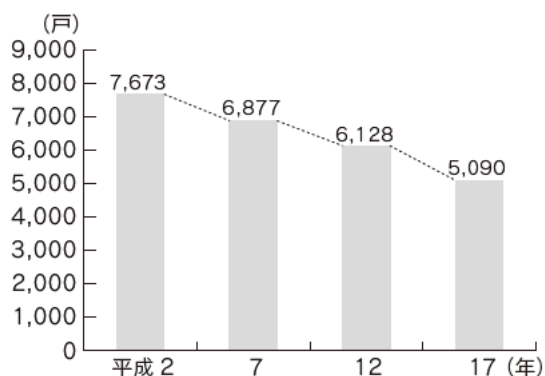
産業別市内総生産の推移



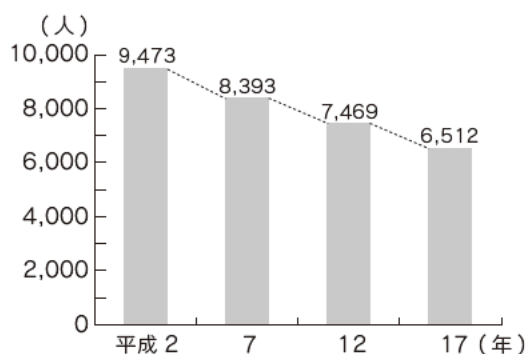
(2) 農林水産業

平成17年における本市の総農家数は、5,090戸、農業就業人口は6,512人、経営耕地面積は7,446haとなっています。2年からの推移を見ると、いずれも減少傾向にあります。特に総農家数の減少が顕著となっています。

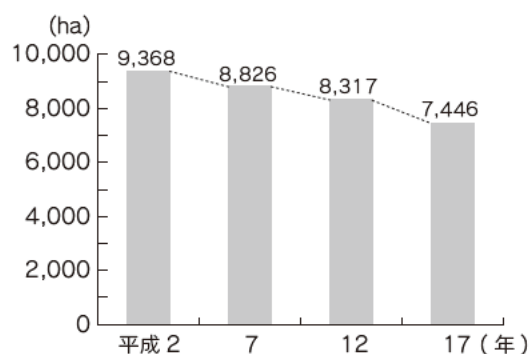
農家数の推移



農業就業人口の推移



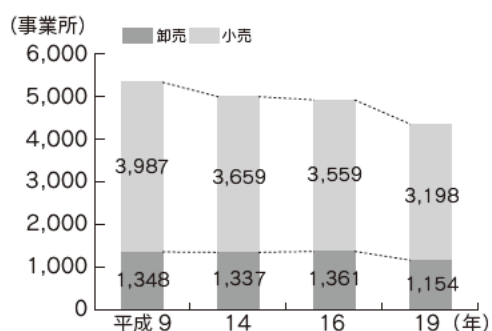
経営耕地面積の推移



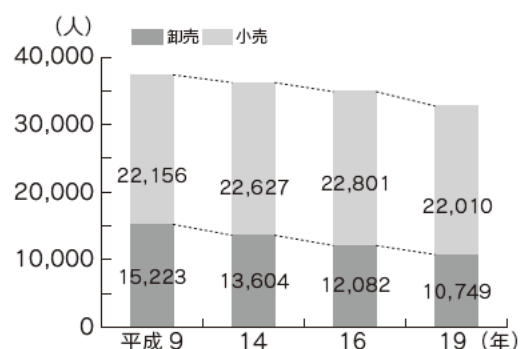
(3) 商業(卸売・小売業)

商業(卸売・小売業)の平成19年における事業所数は4,352事業所、従業者数は32,759人、年間販売額は1兆2,552億円となっています。9年からの推移を見ると、事業所数、従業者数は減少を続けています。また、年間販売額も減少傾向にあり、19年には9年と比較して36.3%も減少しています。

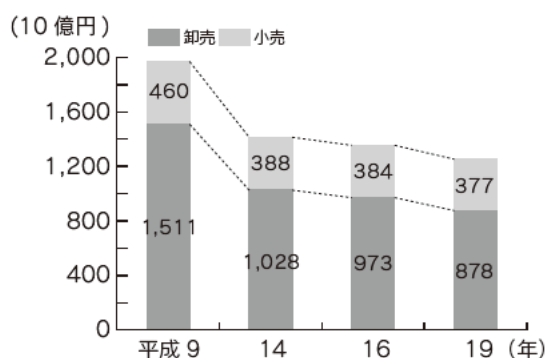
事業所数の推移



従業者数の推移



年間販売額の推移



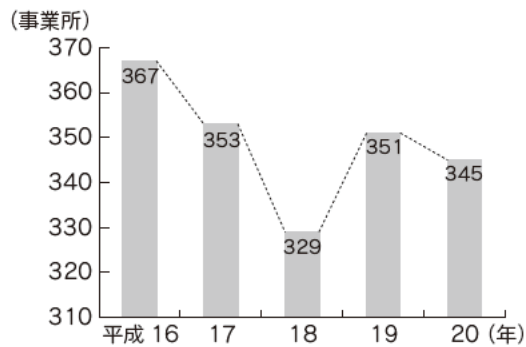
(4) 製造業

製造業の平成20年における事業所数は345事業所で、従業者数は12,784人、製造品出荷額は3,270億円となっています。16年からの5年間は、事業所数、従業者数および製造品出荷額は、ともに一時的な持ち直しはあるものの、全般的に減少傾向にあります。

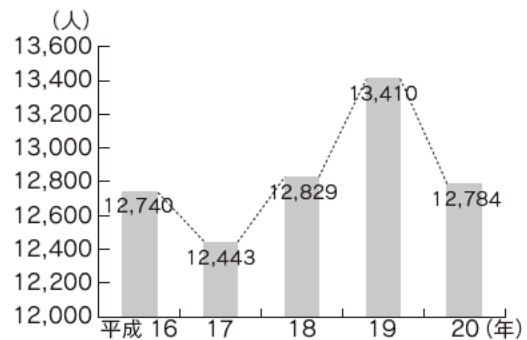
また、産業中分類別に製造品出荷額を見ると、電子部品・デバイス・電子回路製造業、パルプ・紙・紙加工製造業、化学工業、食料品製造業および金属製品製造業の出荷額が高く、17年との比較では、プラスチック製品製造業、化学工業、機械製造業、繊維工業および鉄鋼業が大きく増加しています。特に、プラスチック製品製造業は、4倍近くの伸びを示しています。

一方、電子部品・デバイス・電子回路製造業、木材・木製品製造業および印刷・同関連業は減少しています。

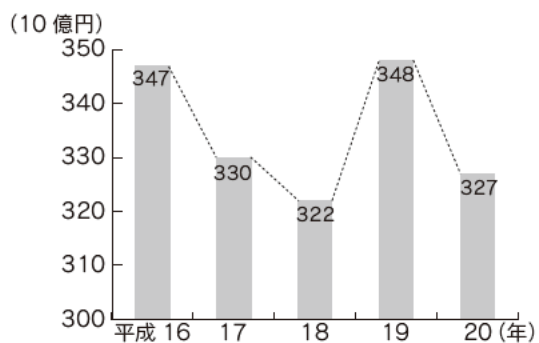
事業所数の推移



従業者数の推移



製造品出荷額の推移



産業中分類別年間製造品出荷額の推移

(百万円)

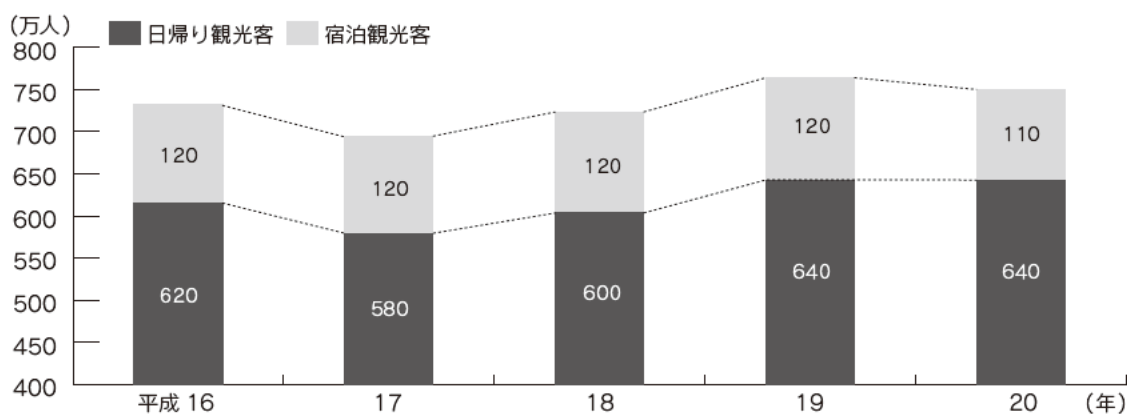
	平成17年	平成20年	増減率
食料品製造業	43,604	37,378	-14.3%
飲料・たばこ・飼料製造業	7,003	6,038	-13.8%
繊維工業	2,223	3,155	41.9%
木材・木製品製造業	33,039	25,707	-22.2%
パルプ・紙・紙加工品製造業	37,426	43,262	15.6%
印刷・同関連業	8,051	6,389	-20.7%
化学工業	21,185	40,280	90.1%
石油製品・石炭製品製造業	923	939	1.7%
プラスチック製品製造業	656	2,608	297.6%
窯業・土石製品製造業	14,067	17,099	21.6%
鉄鋼業	8,702	12,016	38.1%
非鉄金属製造業	18,462	16,246	-12.0%
金属製品製造業	23,701	31,024	30.9%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	92,631	61,938	-33.1%
機械製造業	12,547	19,634	56.5%
その他製造業	3,024	2,505	-17.2%

(5) 観光

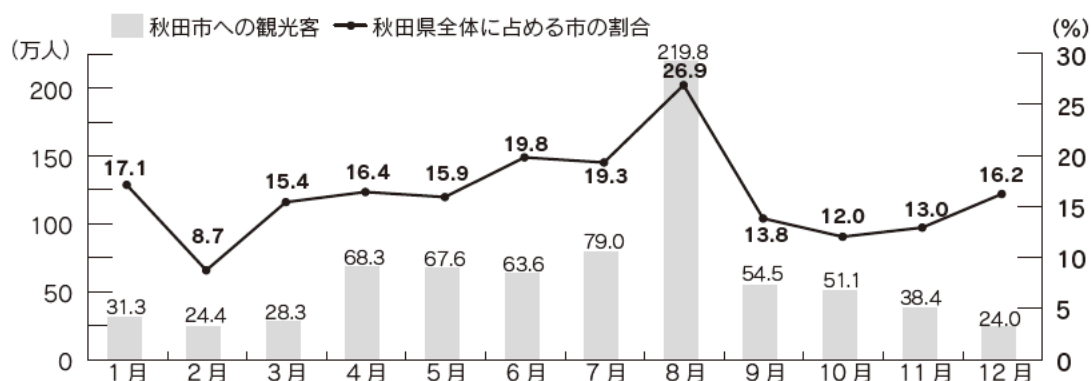
観光入込客数は、平成16年以降増減を繰り返しながら推移しており、20年には約750万人となっています。20年の秋田県の観光客数が4,300万人であることから、県全体の約17%が本市の観光客となっています。

観光客の多くは日帰りで、月別では竿燈まつりが開催される8月に年間観光客数の約3割が集中しています。

観光客数の推移



月別観光入込客数の推移(平成20年)



4 都市環境

(1) 土地利用と都市計画

秋田市は、平成17年1月の旧河辺町・旧雄和町との市町合併により、905.67km²の行政区域面積を有し、その約73%が森林など、約27%が住宅地や産業用地、農地、道路などとなっています。

また、秋田都市計画区域と河辺都市計画区域の二つの都市計画区域を有しており、その面積は市域の約46%にあたる414.37km²となっています。

秋田都市計画区域は、市街化を促進する市街化区域*と抑制する市街化調整区域*に区分され、市街化区域は、市域の約8%にあたる74.24km²となっています。また、用途地域も定められ市街化の計画的な促進がはかられています。

河辺都市計画区域は、旧河辺町と旧雄和町の一部の約104.50km²となっており、市街化区域と市街化調整区域の区分はされていませんが、部分的に用途地域を定めるなど、土地利用の誘導をはかっています。

秋田市の都市計画区域

■ 市街化区域 ■ 市街化調整区域 ■ 河辺都市計画区域



※市街化区域・市街化調整区域

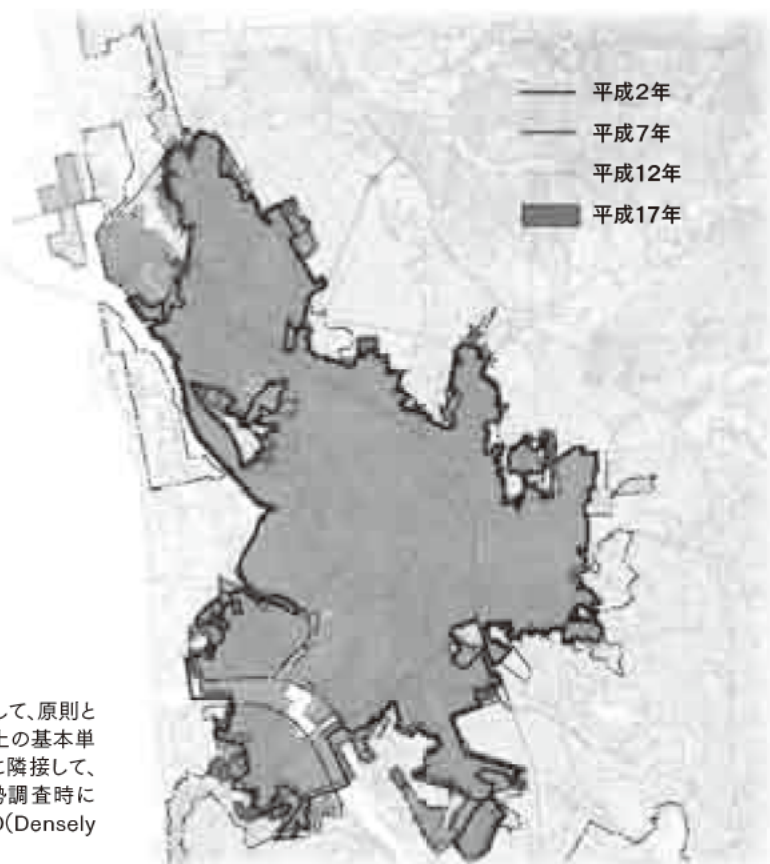
都市計画法による都市計画区域のうち、市街化区域は、すでに市街地を形成している区域および、おおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化をはかるべき区域。市街化調整区域は、市街化を抑制する区域のことで、無秩序な市街化を防止するために定められた区域。

	面積(km ²)	割合	備考
秋田都市計画区域	309.87	34.2%	太平・仁別・上新城・下浜の一部を除く旧秋田市行政区域460.10km ² の67.3%を指定
市街化区域	74.24	8.2%	
市街化調整区域	235.63	26.0%	
河辺都市計画区域	104.5	11.5%	旧河辺町行政区域のうちの56.25km ² と旧雄和町行政区域のうちの48.25km ² を指定
都市計画区域外	491.3	54.3%	行政区域のうち、秋田都市計画区域、河辺都市計画区域いずれにも指定されていない区域
全体	905.67	100.0%	

(2) 市街化動向

秋田市内における人口集中地区面積は、平成17年において、約53.6km²と7年からの10年間で3.2km²増加し、市街地北西部を中心に樹林地や農地を徐々に宅地化しながら拡大しています。また、人口集中地区※の人口は17年に約263,500人となり、7年からの10年間で3,900人増加しています。人口集中地区の人口密度は、7年以降減少傾向にあり、17年には4,915.8人/km²になっています。

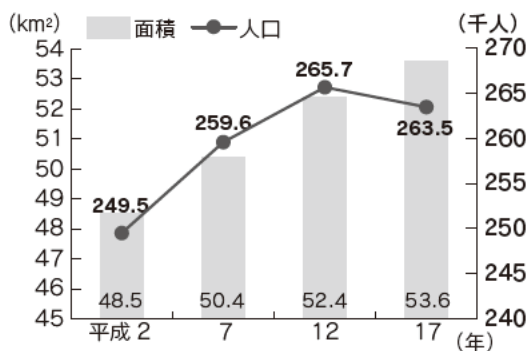
中心市街地は、空き店舗の増加や遊休地の増加により空洞化の傾向にあります。郊外地域には、自動車利用型の商業施設が形成され、秋田駅東地区では、駅周辺の開発や都市施設の整備などの波を受け、幹線道路沿線などに商業・業務施設の立地が進んでいます。



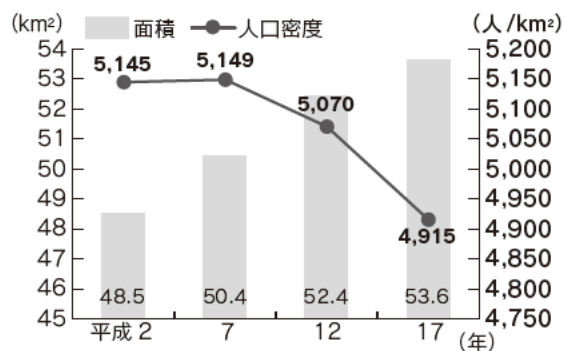
※人口集中地区

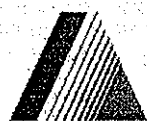
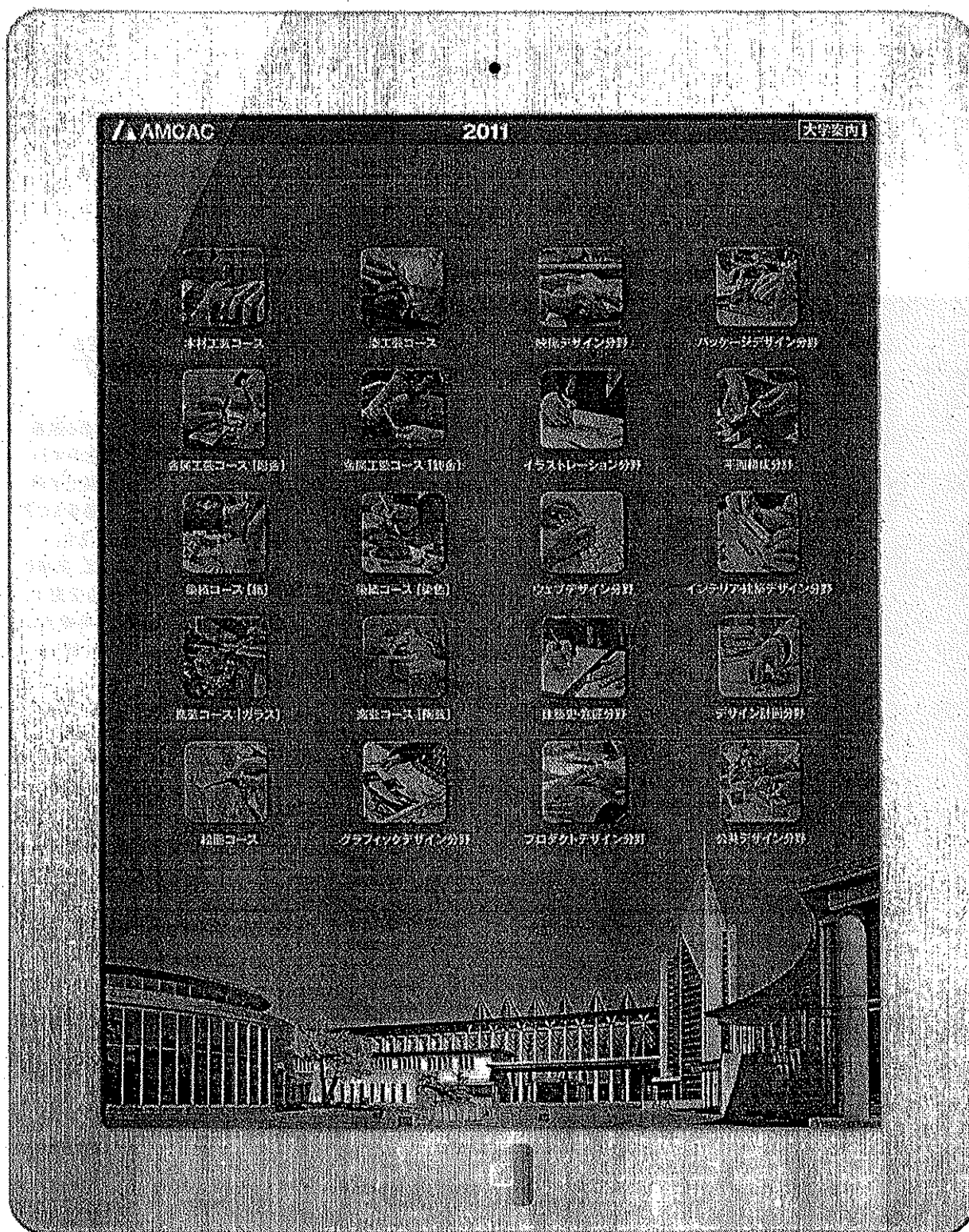
国勢調査基本単位区等を基礎単位として、原則として人口密度が1km²あたり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域でDID(Densely Inhabited District の略)という。

DIDの面積と人口の推移



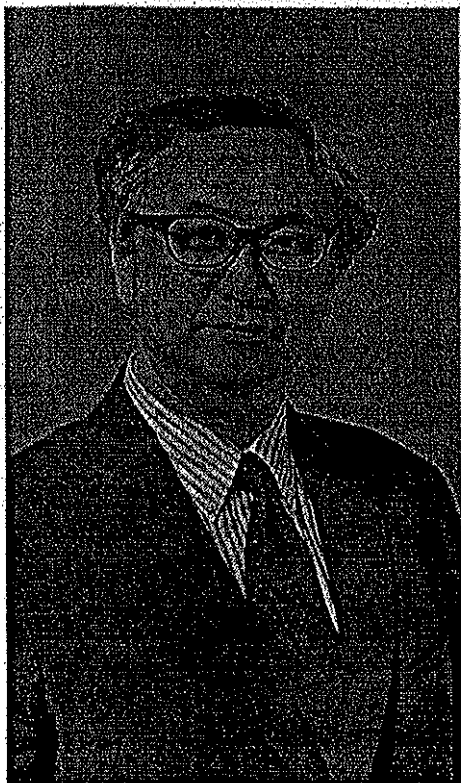
DIDの面積と人口密度の推移





Akita Municipal Junior College of Arts and Crafts

秋田公立美術工芸短期大学



これからの 秋田公立美術工芸短期大学

秋田公立美術工芸短期大学は、美術、工芸、デザインの分野で人材を世に送り出しつづけています。卒業生総数は、この3月で2,402人をかぞえました。学校創立が平成7年、16年前のことですから、最初の卒業生はそろそろ30代後半に差し掛かるうとしていることになります。本学自体も「美短」という愛称で、地元にとけ込んできました。

卒業生は秋田の地で、あるいは出身地に戻って、あるいは都会に出て、仕事に就いています。会社勤め、起業、作家活動と、道はそれぞれ違っても、だれもが自分で歩きはじめています。

本学が目指すのは、こうした先輩たちに続く人材の育成です。先輩た

ちが手探りで切り開きつつある道筋、それは芸術を職業として生かすという、とてつもなく難しい課題ですが、その道筋をこれからの卒業生もたどれるよう、本学は手を尽くします。

そして出来ることならば、芸術を生かせる職業のさまざまな分野で、そして日本中の各地で、卒業生はリーダーを担う人材にならねと願っています。

芸術の分野は若い人でも世に出るチャンスがあります。芸術家を志す人はもちろんのこと、たとえ企業人であっても、芸術の新しい姿を日本全国に向けて描きだしてくれる人、そんな人材の育成という目標を、これからの秋田公立美術工芸短大はあらためて掲げます。

[学長] 樋田 豊次郎 HIDA Toyōjirō

1950年、東京橋本谷に生まれる。東京藝術大学大学院（芸術学）修了。1976年から2002年まで東京国立近代美術館に勤務。1994年、企画した展覧会「素材の領分」で、倫理芸術奨励賞を受賞。著書に『明治の輸出工芸図案』、『工芸の領分——工芸には生活感情が封印されている』、『工芸家——「伝統」の生産者』、『近代日本デザイン史』、『終わらせない「近代」——八木一夫とオブジェ展』、『アジア現代美術の「マーケット」』など。

Index

学長挨拶

- 02 …教育の理念／教育の重点／アドミッション・ポリシー
- 03 …開学からの主な歩み／組織体系
- 04 …教養／専門 共通科目群
- 06 …キャリア教育／職業教育の取組

工芸美術学科

- 08 …学習のプロセス・履修カリキュラム
- 10 …木材工芸コース
- 11 …漆工芸コース
- 12 …金属工芸コース【彫金】
- 13 …金属工芸コース【鋳金】
- 14 …染織コース【織】
- 15 …染織コース【染色】
- 16 …窯芸コース【ガラス】
- 17 …窯芸コース【陶芸】
- 18 …松面コース

産業デザイン学科

- 20 …学習のプロセス・履修科目
- 22 …グラフィックデザイン分野
- 23 …映像デザイン分野
- 24 …パッケージデザイン分野
- 25 …イラストレーション分野
- 26 …平面構成分野
- 27 …ウェブデザイン分野
- 28 …インテリア・建築デザイン分野
- 29 …建築史・造匠分野
- 30 …デザイン計画分野
- 31 …プロダクトデザイン分野
- 32 …公共デザイン分野

専攻科

- 34 …工芸美術専攻
- 35 …産業デザイン専攻
- 36 …教員紹介
- 40 …キャンパスガイド
- 42 …キャンパスライフ
- 43 …キャンパスを囲む自然と地域文化
- 44 …大学の社会貢献の取組
- 46 …キャリア形成の取組
- 48 …卒業生・修了生の進路状況
- 49 …進学説明会・オープンキャンパス
- 50 …実技試験参考事例
- 52 …卒業生・修了生からのメッセージ
- 56 …秋田市インフォメーション＆マップ

教育の理念

質の高い美術・工芸・デザインは、
わたしたちの心に安らぎを与え、感動を呼び起こし、
平和で豊かな社会を支え、創り、変えるエネルギーを内包しています。
こうした認識のもとに、本学では次世代を牽引する
クリエイターの養成を目指しています。

教育の重点

- 多彩な教育内容で学生の興味を増幅させ、自主的学習を促します。
- 少人数制で学生の可能性を引き出し、創造力を高め、独自の表現力を発揮させます。
- 地域もキャンパスと捉え、学生の社会性・コミュニケーション能力を育みます。

■ アドミッションポリシー [入学者受入方針]

工芸美術学科

産業デザイン学科

- 美術・工芸・デザインに関心を持っている人
- 基礎学力を備え、表現力向上に意欲のある人
- 大学で学んだことを社会に活かす意欲のある人

工芸美術専攻

産業デザイン専攻

- 美術・工芸・デザイン分野の高度な専門知識及び技術の修得を望む人

社会人

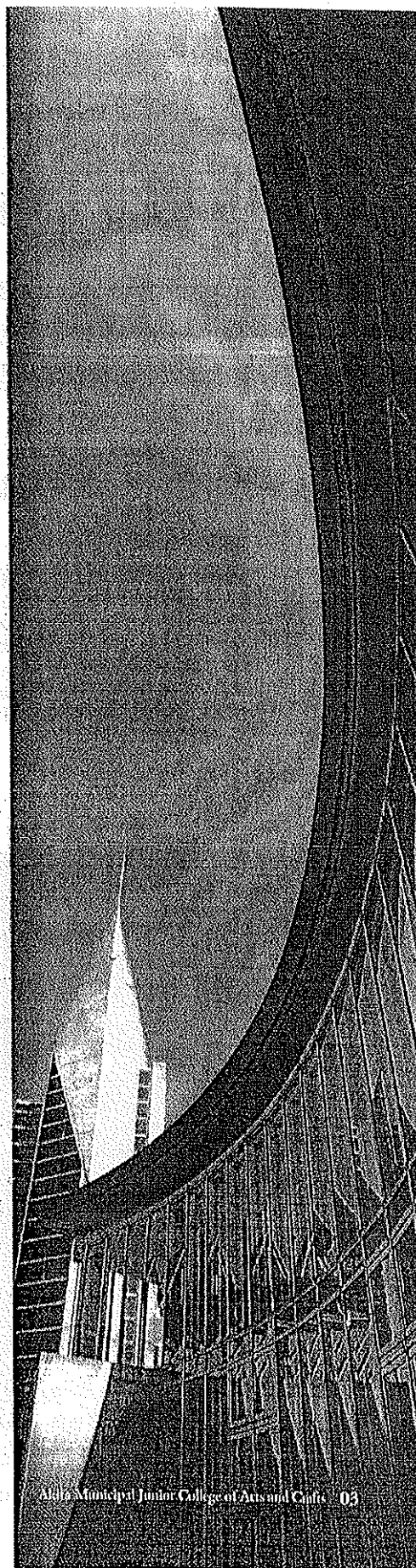
- 美術・工芸・デザインに関心を持っている人
- 社会経験で得た知識やコミュニケーション能力を、学生生活の場で発揮する意欲のある人
- 大学で学んだことを社会に活かす意欲のある人

■開学からの主な歩み

- 平成7年度 4月 ■秋田公立美術工芸短期大学開学/初代学長 石原英雄
(昭和27年に開設した秋田市立美術工芸専門学校・専門課程を発展的に改組して開学/秋田市立美術工芸専門学校は短大の附属高等学院となる)
- 平成8年度 4月 ■大学開放センター「アトリエももさだ」オープン
工芸美術学科が素材別5コース制から5コース8分野選択制に移行
- 平成9年度 4月 ■第一期専攻科生入学
■6月から平成12年度11月にかけて本学の校舎が徐々に完成
(平成9年度グッドデザイン施設賞・第13回市民が選ぶ都市景観賞「アトリエももさだ」等)
- 平成10年度 3月 ■アトリオン(秋田市の複合文化施設)にて初めての「教員展」開催
- 平成11年度 10月 ■校歌・校章の制定
- 平成13年度 4月 ■石川好・新学長就任
- 平成14年度 4月 ■工芸美術学科に「絵画コース」を新設
6月 ■全国公立短期大学協会総会を本学で開催
9月 ■実習棟A改修工事竣工
3月 ■アトリオン(秋田市の複合文化施設)にて初めての「卒業・修了制作展」(学外展)
- 平成15年度 9月 ■実習棟B改修工事竣工
10月 ■秋田県における大学・短期大学および高等専門学校間の単位互換に関する協定書および覚書締結(平成16年度4月より開始)
- 平成16年度 9月 ■実習棟C改修工事竣工
■開学10周年記念イベント開催「大学祭」
■「新屋まちなみデザインシンポジウム」
8月 ■大学開放センター作品展示室改修工事竣工
- 平成17年度 9月 ■開学10周年記念式典・祝賀会開催
- 平成18年度 4月 ■産業デザイン学科の3コース制を改組し9分野制に移行
■「ウェブデザイン分野」を新設
- 平成19年度 4月 ■樋田豊次郎・新学長就任
■「大学制度調査会」を発足し今後の大学のあり方について研究開始
■産業デザイン学科に「公共デザイン」分野を新設

■組織体系

学 科	工芸美術学科 (定員60名)	
	木材工芸コース 金工工芸コース 彫金 染織コース 織 窯芸コース ガラス 絵画コース	漆工芸コース 金属工芸コース 鋳金 染織コース 染色 窯芸コース 陶芸
専 攻 科	産業デザイン学科 (定員90名)	
	グラフィックデザイン分野 パッケージデザイン分野 平面構成分野 インテリア・建築デザイン分野 デザイン計画分野 公共デザイン分野	映像デザイン分野 イラストレーション分野 ウェブデザイン分野 建築史・意匠分野 プロダクトデザイン分野
専 攻 科	工芸美術専攻 (定員10名)	
	産業デザイン専攻 (定員15名)	



美 ベタよりベスト、普通 教養/専門 共通科目群

ものづくりにかける若い才能の真摯な想いを、すべて受け止める充実のカリキュラム。

美と向き合い、探求していくためのスキルとノウハウ、

現代社会で幅広く活躍するための人間力、実践力を養います。

■ 本学の教育課程の編成は、教養基礎科目群と専門科目群に区分される。

1. 教養基礎科目群

教養基礎科目は、ひとり一人の学生が、確固たるアイデンティティを確立し、さらに、社会人・職人としての知識・教養を身に付けるための科目となる。専門科目群との関連性を保ちながら、教養基礎科目のカリキュラムが編成されている。「人間と文化」「現代社会の理解」「人間と自然・科学の理解」「外国語」「体育」の5分野から構成される。

2. 専門科目群

【工芸美術学科】

専門科目は、「ものづくり」を志す学生に、各分野での専門技術を修得させることを目的としている。1年次から専門的基礎知識・技術を段階的に履修していくことにより、学習意欲を喚起させ、修習目的を明確にし、より効果的に技術を修得できるようにしている。

【産業デザイン学科】

専門科目は、「デザイン」を志す学生に、デザインの意義や基礎的な専門知識と専門技術を、段階的に修得させることを目的としている。デザインに対する好奇心を増進させ、学生の可能性をひらき、自立した職人入を自ら創りあげる一助として、11の専門分野にかかわる豊富な選択科目群を用意している。



充実した情報教育環境

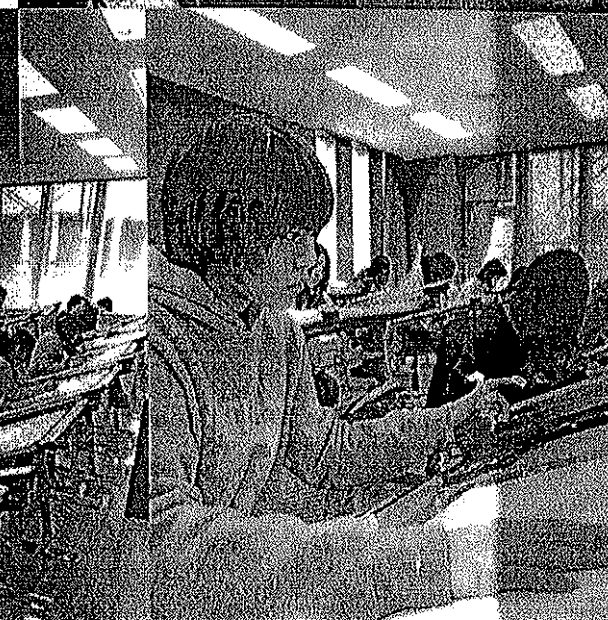
情報系2室、制作系5室を配置して授業時には一人一台のコンピュータを用意。操作の基本から、演習として使いこなす技術まで、幅広く修得します。多彩な機器やソフトを備え、豊かで充実した教育環境を整えています。

[illegible]

工芸美術学科と産業デザイン学科、それぞれの専門分野に加え、両学科共通の教養科目や専門科目を履修することができます。幅広い知能や技術の修得を目指します。

それぞれの授業目的に合わせた講義方法を導入し、より柔軟な指導を行います。各分野の優れた教員を配置し、学生ひとり一人に対し、ゼミ形式などのきめ細かい指導を行っています。

この演習では基本的な平面図学から投影図を用いた立体図学、家具の製図を行います。図学の実践によって図形の論理的な理解力を養い、一般的な製図を習得します。



■ キャリア教育・職業教育の取り組み

本学におけるキャリア教育・職業教育は、「美術・工芸・デザインの実践と進路支援を通じて、社会的・職業的に自立できる能力を育成すること」と位置づけ、以下の四つの能力の育成を行う。

1、コミュニケーション能力

自分の考えを人に伝え、人の考えを聞き取る力を養い、協調性を持って物事に取り組み能力

2、考える能力

必要な情報を収集・分析し、問題点や課題を把握する力を養い、計画性を持ち意思決定をする能力

3、行動する能力

主体性を持って立案・制作し、実行する力を養い、物事をやり遂げる能力

4、美術・工芸・デザインに関する職業の専門的な能力

Department of Crafts and Arts

工芸美術学科

過去を見つめ、未来を創造する。

AMCAG

2011

大学案内



木工コース



陶工コース



金属工芸コース（師範）



金属工芸コース（師範）



紡織コース（織）



紡織コース（織）



窯芸コース（ガラス）



窯芸コース（陶芸）



紡織コース

工芸美術学科の特徴

- 様々な素材体験を通して「ものづくり」の経験をサポートする。
- 伝統技法を段階的に学びながら自分の「かたち」を創り上げていく方法を学ぶことができる。
- 多彩なコースがあり、自分の適性に関心によりコース選択ができる。
- 7人1組の工房で、より深く、より徹底的に個別指導が受けられる。
- 用途を目的としないが、芸術性を追求したものなり自分の感性で制作していく時間と場がある。

教育目標

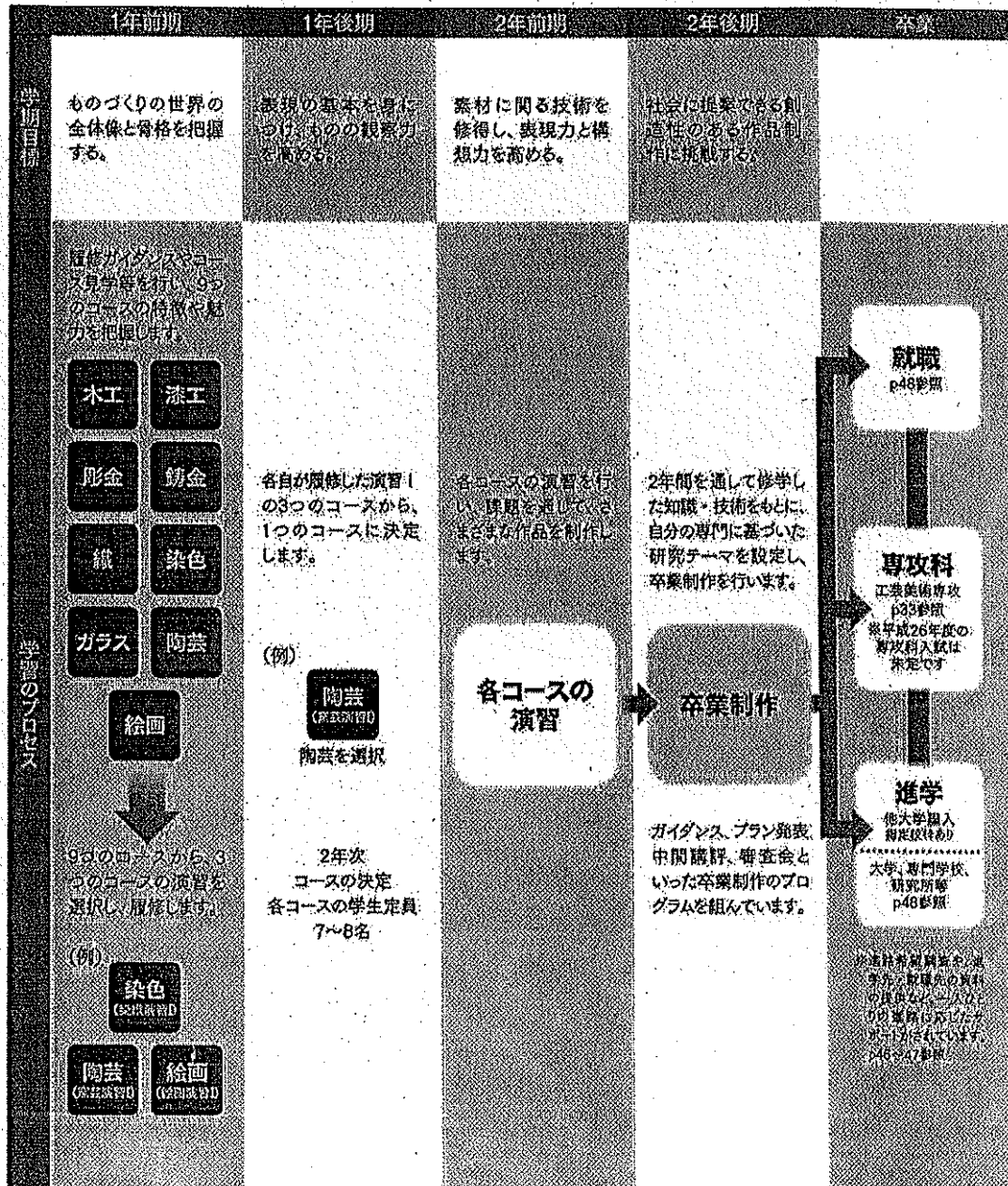
1. 芸術工芸の知識と技術を身につけ、創造性に満ちた個性豊かな芸術家の育成を目指す。
2. 社会生活における芸術工芸の役割を認識し、芸術文化の社会貢献を担う人の育成を目指す。



□□□■ 学習のプロセス・ピックアップカリキュラム

■学習のプロセス

自分の中の隠れた才能を見つけるために、1年前期に興味や関心を持っている科目を3つ選び履修し、1年後期にひとつの専門に決定します。2年生から徐々に「ものづくり」の本質とスキルアップを学べる仕組みになっています。



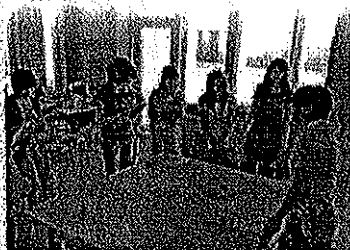
入学後はじめて素材に触れる授業です。3つのコースの演習Ⅰを選択することができます。



レンダリングやデザイン
ワークによる植物の細
密描写、色彩構成など
を行います。



各コースに分かれての
演習で、課題を通して、さま
ざまな作品を制作します。



◎教學基礎科目群

教養基礎科目は一人一人の学生が確固たるアイデンティティを確立し、さらに社会人・職業人としての知識、教養を身に付けるための科目です。専門科目群との関連性を保ちながら、教養基礎科目のカリキュラムが構成されています。「人間と文化の理解」「現代社会の理解」「人間と自然・科学の理解」「外国語」「体育」の5分野から構成されます。

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
外国語	英語I:スポーツと健康I 英語II:表現英語I 実用英語II	英語II:表現英語II 実用英語II 英訳読解	英語I:スポーツと健康II 文芸演習	英語II:表現英語II 表現英語III
人間と文化の理解	地域文化論	心理学	比較文化論	
現代社会の理解	生活と法律		生活と経済	国際関係論
人間と自然・社会の理解			科学技術と人間 生活と情報	生活と環境

◎專門科目群

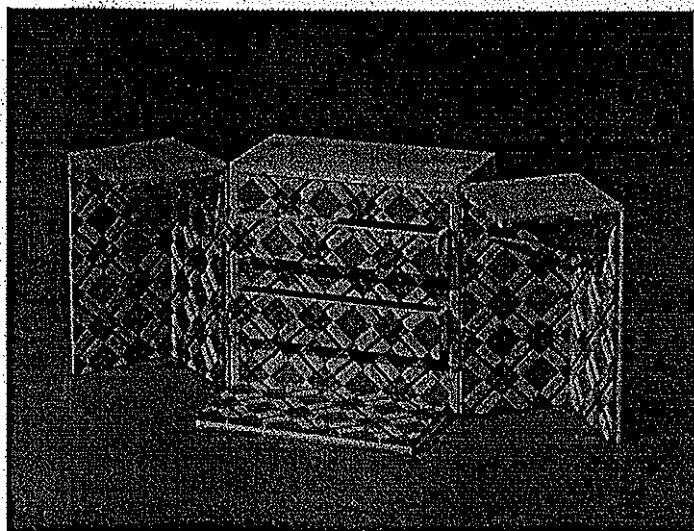
専門科目は「ものづくり」を志す学生に、各分野での専門知識と技術を修得させることを目的としています。1年次から専門の基礎知識・技術を段階的に履修していきます。それにより、学習意欲を喚起させ、履修目的を明確にし、より効果的に学べるようにしています。

専門科目	情報リテラシー コンピュータ表現基礎	情報デザイン入門 デザイン計画概論	コンピュータ表現演習 CGモデリング インターフェイスデザイン論 企画のグラフィック表現演習	プロダクトデザイン概論
基幹科目	造形表現基礎・素描 造形表現基礎・彫塑 工芸概論 材料学 図学製図演習 色彩構成 西洋美術史 東洋工芸史	東洋美術史 美術・構成論 美術表現演習 彫塑演習 工芸デザイン基礎 A・B・C・D		
専門科目	木工演習Ⅰ 漆工演習Ⅰ 金工演習Ⅰ(彫金) 金工演習Ⅱ(鍍金) 染織演習(絹) 染織演習(染色) 窯芸演習(ガラス) 窯芸演習(陶芸) 絵画演習Ⅰ	表現素材演習Ⅰ 絵画材料科学	木工演習ⅡⅢ 漆工演習ⅡⅢ 金工演習ⅡⅢ(彫金) 金工演習ⅡⅢ(鍍金) 染織演習ⅡⅢ(絹) 染織演習ⅡⅢ(染色) 窯芸演習ⅡⅢ(ガラス) 窯芸演習ⅡⅢ(陶芸) 表現素材演習Ⅱ 絵画技法演習 絵画史概論 人体美学	
卒業制作				卒業制作

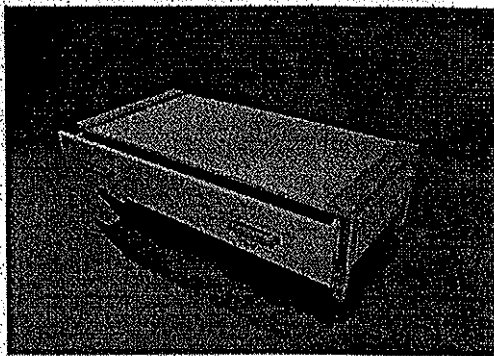
Woodworking Course

木材工芸コース

松本新一 教授 山岡惇 准教授



舞臺彫刻/ナイメジソン



鈴木裕理/小さな桐箆箱



木の本質を知り、 自由なアイデアを投影する。

最も身近な自然素材を、自在に操る知恵と技。それは機械化・分業化が進む現代にあっても、精度の高い家具や美しい工芸品を作り出す上で、案外必要とされ続けている。

木材工芸コースでは、その名の通り、木を使ってものを作ることを学びます。木という素材の特徴は、人間と同じ有機物であるということ。ほかの素材と違い、それ自体が「生きている(動く)」ため、木々の特性と、動きを制御する方法を知ることが重要になります。授業ではアイデアスケッチに始まり、図面を起して素材の大きさを測り、切って加工するという手順で作品の制作を進めます。そこには一見、とても単純なようで、実は奥の深い要素がギュッと詰まっています。

自分で企画し、それを現実化させていく——この社会生活の基礎とも言うべきワークフローと、ものづくりの神髄を、木コースでしっかり身につけてください。

Interview 自然素材特有の温かさと 応用範囲の広さが魅力

木材に興味を持ち始めたのは高校のころです。素材だけを見るとすごく地味な木ですが、自然素材特有の温かさと応用範囲の広さに惹かれ、木コースを選択しました。木材オリジナル作品をプロデュースする自分の店を持つこと、親身になって指導してくれる先生のもとで、スキルと知識をどんどん吸収していきたいです。



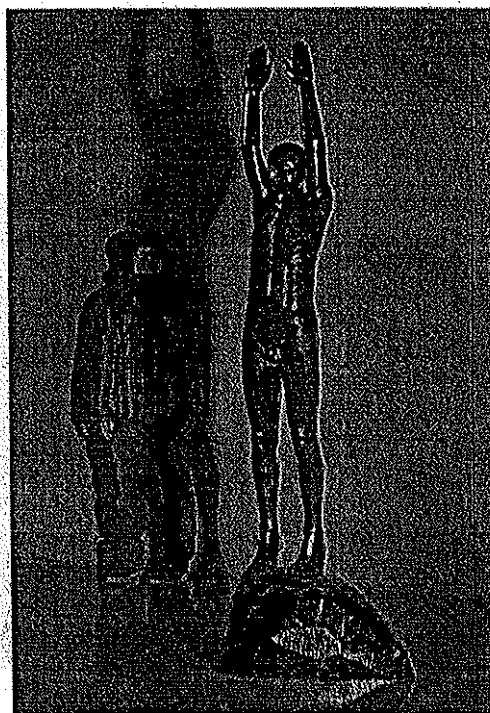
木材工芸コース2年
柴田麻朱(秋田県秋田市)

Japanese Lacquer Course

漆工芸コース

熊谷晃 准教授

漆工芸コース



渡野琢和 / TATOO

稀有の手工業を通し、人の営みを学ぶ。

繊細な感覚と高度な技術力が必要とされる漆工芸。

何度も塗り重ねられた漆と金箔に照り輝く絵柄の美しさは、

日本が誇る工芸技術として、世界中から高い評価を獲得している。

Interview 将来は漆職人として生計を立てていきたい

美術系の高校で漆に触れた際、この素材ととことん付き合ってみたい!と思ったのが本コースを選んだ理由です。時間は限られていますが一日の中身が濃いので、知らなかったことがどんどん吸収でき、日々自分の成長を実感できる環境に満足しています。ここで学んだことを活かして、将来は漆職人として生計を立てていきたいです。

漆工芸コース2年
松本ちさと (山形県山形市)

私たちが日常的に手にする漆器の“塗り”をベースに、金や銀などの金属粉を器面に定着させる蒔絵(まきえ)や、貝殻の光沢層から切り出した素材を漆地や木地の表面にはり込む螺鈿(らでん)を研究、制作していくのが漆工芸コースです。

本コースで最も特徴的な事例は、制作に用いる漆を、一から自分たちで精製すること。漆の特性、漆工芸の本質を学ぶ上で、この上ない貴重な体験の機会を提供します。

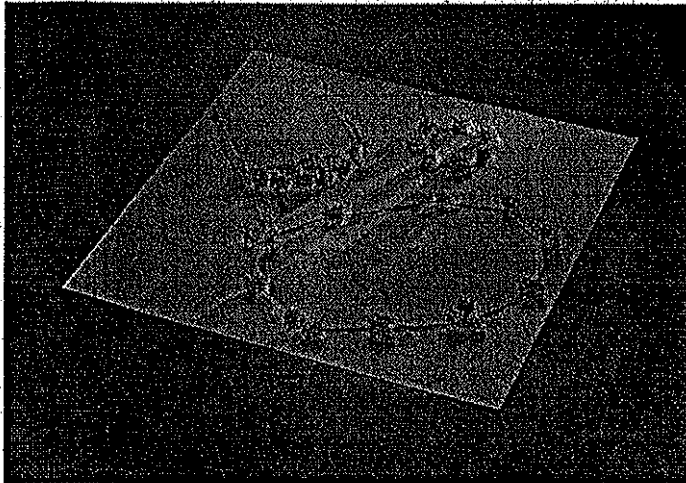
日本は古くから、漆の文化が人々の生活に深く息づいてきた地域。取り扱いの大変な漆が現代に残されているということには、必ず理由があるはずです。それが何なのか——本コースで解明の糸口を探ってみてください。



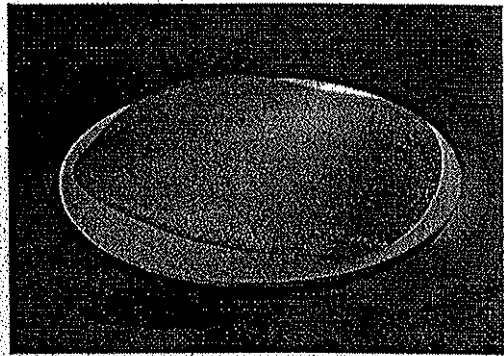
Metalworking Course-Chasing

金属工芸コース [彫金]

安藤麻裕 准教授



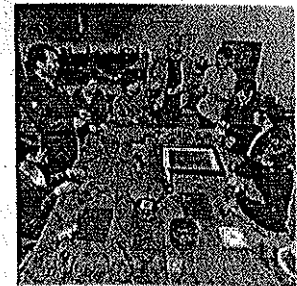
西村真弘/シロシメタ



常盤西子/つがわ

それは心のスキルを高める芸術。

主に金属を用いてアクセサリーや装飾品、小物などを作る金属工芸<彫金>。近年、若いアーティストがオリジナルブランドを立ち上げるといった例も増えてきている。



金属工芸コース[彫金]では、銅、銀、真鍮を切ったり削ったりしながら、彫金の基礎的な技法を学びます。

それはつまり、素材との対話を重ねながら、感じ、考え、感性を研ぎ澄ましていくということ。

卒業後の進路として一般職を選択する学生も多い本学では、作品の制作を通して、“自分なりの発想”にたどり着くための手順を、一つ一つ丁寧にこなしていくことに重きを置いています。

自分自身とじっくり向き合い、心のスキルを高めながら、美術の分野に限らず幅広いジャンルで興味深いプレゼンテーションができる社会力、あるいは人間力といったものをしっかり養ってください。

Interview 職人として独り立ちできるよう頑張りたい

以前からジュエリーに興味があり、時間をかけて一つのモノを作り上げることが好きだったので、このコースを選択しました。金属という素材は火を加えることで自由に形を変えることができ、またその時の温度でいろいろな表情を見せるところが魅力的です。いつか職人として独り立ちできるよう、ここで多くのものを吸収したいです。

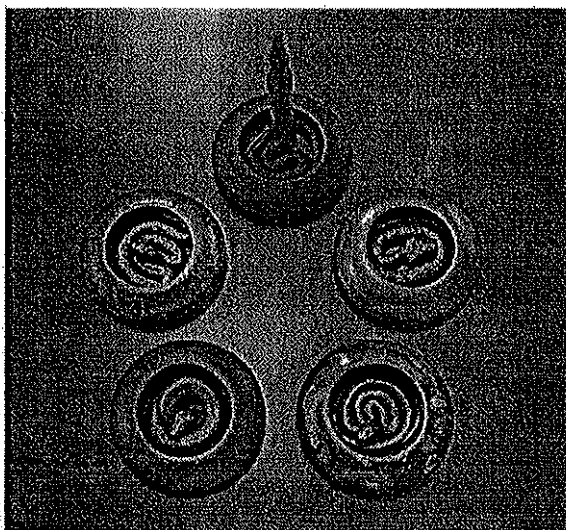


金属工芸コース[彫金]2年 若井 莉子(若井莉子)

Metalworking Course-Casting

金属工芸コース [鑄金]

島屋純晴 教授



丹内陽／純器

荒川知佳子／純器



感動は、いつも遠回りの先に。

鑄金は金属を溶かして鑄型に流し込み、冷却してから取り出して、仕上げる金属工芸。作品の形状によっては複数の造形法を使い分ける必要があり、そのすべての工程で経験と高度な技が求められる。

Interview

苦労も多いが、それを乗り越えたときの喜びは格別

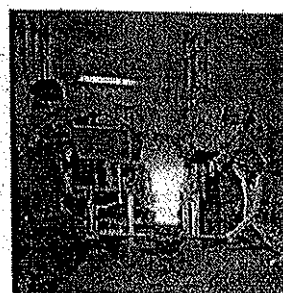
先生の作品にかける姿勢と金属を紡いでいる時の姿に惹かれ、私も鑄金に取り組んでみたいと思いました。鉛筆と定規で図面を引き、土で型を作り、型に金属を流して冷まして彫く…作品にたどり着くまでは苦労も多いですが、それを乗り越えたときの喜びは格別です。将来は自分の地元で工房を開き、伝統の技を伝えたいです。

金属工芸コース【山金】2年
村本歩 (大沼八重子)

今の子どもたちは火を知りません。電気の方が楽にも押し寄せ、私たちの視界から火が消えようとしています。金工に関しては、あと20～30年もすれば日本から姿を消してしまうのではないかと危惧があります。

そのような状況の下で金属工芸コース【鑄金】は、日本の文化的アイデンティティを後世に伝えていくために、あえて千年前に大仏様が造られたときと同じ技法で、金工に触れる機会を提供することが大切だと考えました。

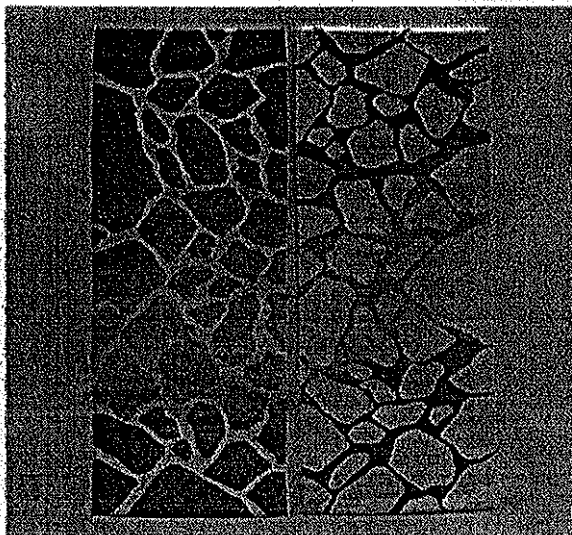
本コースでは汗と砂にまみれながら、黙々と作業を続けます。しかし、高温で溶けた金属が想いを込めた形になる瞬間は、きっと誰もが魂を揺さぶられるはずです。金身で、日本のものづくり技術の素晴らしさを感じてください。



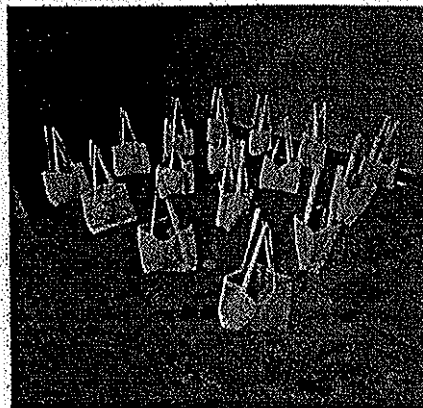
Textile Course - Weaving

染織コース [織]

長沢桂一 准教授



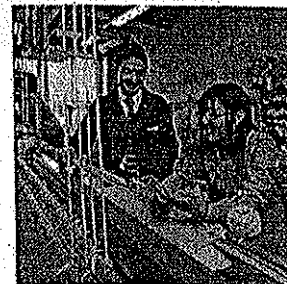
竹田佳世/水



今野香住/おたしと内閣の存在

経系の時間、緯系の記憶。

古くから人々の暮らしと密接に関わり合ってきた織布。
目まぐるしく変化する現代にあっても、衣服、
住空間、そしてアートのおそばには、
いつも変わらずテキスタイルが存在している。



染織コース[織]では、織機を使って布を作ります。すべての学生に専用の織機が一台ずつ与えられるという恵まれた環境の下で、織の基本技法を学び、じっくりと作品の制作に打ち込むことができます。本コースでは布を作ることにより多くの時間を割きますが、作品に使用する糸を選び、染料を使ってそれを染めるといった、いわば前段階の工程も学生自身の手で行います。

従って自分のイメージ通りの作品が作れるという観点では、非常に自由度が高いと言えますが、逆にアイデアがないと何もできないということに成りかねません。ぜひともやりたいことを明確にした上で、課程に臨んでください。

Interview

細かい作業を積み重ねることで、少しずつ理想に近づける

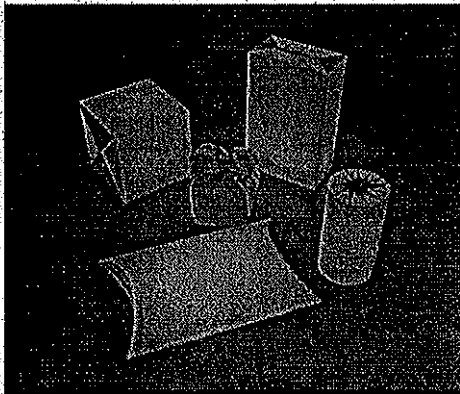
織布に興味を持ったのは、この大学に入ってから。学生一人に一台ずつ織機が与えられる環境と、織の技法の奥深さに惹かれ、本格的に勉強してみようと思いました。細かい作業を丁寧に積み重ねることで、少しずつ理想に近づけるという点も私の性格に向いていると思いました。卒業しても何らかの形で織布とは関わってみたいです。

染織コース[織] 2年
越田彩子 (右側写真)

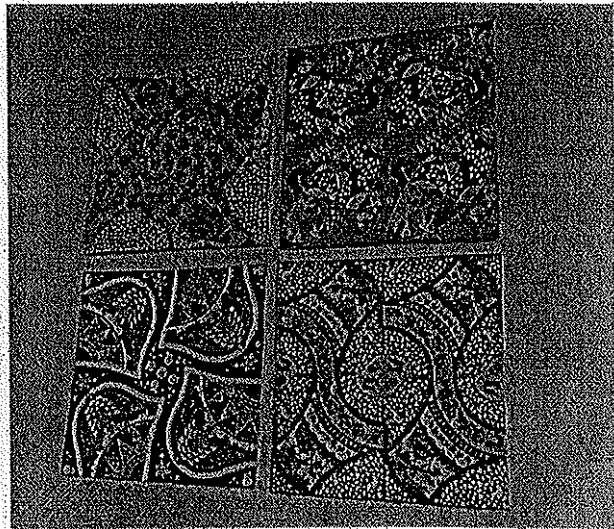
Textile Course-Dyeing

染織コース [染色]

森香織 助教



高橋しのぶ/私に届いた贈り物



岡本佳那子/The Four Seasons

日本古来の技法に、偶然の美を見る。

いま再び、世界の注目を集めている型染、友禅染、絞り染といった日本の伝統的な技法。ファンの需要は着物にとどまらず、さまざまなかたちで広がりをを見せている。

Interview 染色の色味には、独特の深みと奥行きがある

高校では絵画を勉強していたのですが、染色の色味には絵画と違い、独特の深みと奥行きがあり、やり直しができない難しさはありますが、思い通りの色を出せるように自分の腕を磨いて、将来は染色の技法を生活に密着したもの、実用的なものに取り入れて、日本古来の技術を広く伝えていきたいと思っています。

染織コース [染色] 2年
9月12日 佐藤 佳那子 (学生)

身近な布を素材として選び、それを日本古来の技法で染め上げていくのが染織コース [染色] です。本コースでは絵画調の模様が印象的な友禅染を軸に、さまざまな染色技法を学んでいきます。

染色の難しさは一度布に色を置いてしまうと、元には戻せないという点にあります。そのため染めの工程に入る前には、明確なイメージづくりと、入念なプランニングを行います。また伝統的な染色の技法では、布の上に細かい線で模様を描くため、絵画やイラストに関する最低限のスキルも同時に習得します。

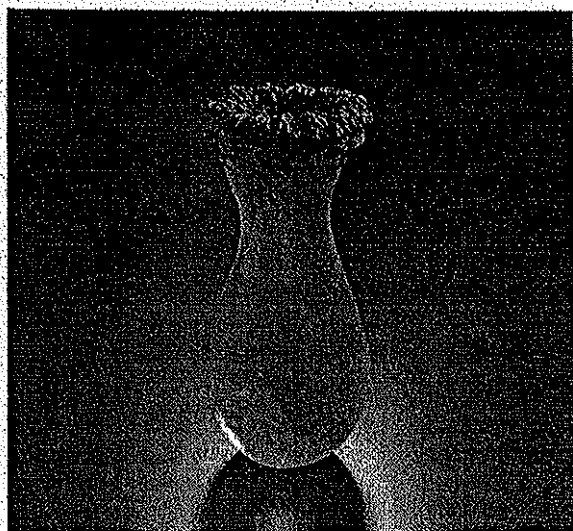
やるべきことは多岐に渡りますが、必然と偶然が織りなす魅惑の世界で、個性的な作品づくりに挑戦してみてください。



Class & Ceramics Course - Glass

窯芸コース [ガラス]

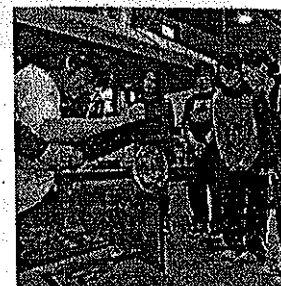
小牟禮 誠人 教授



第1期生/夢幻陶芸



後期生/Hope



きっとガラスは応えてくれる。

吹きガラス・キルンワーク・ゴールドワーク等の技法を用い、食器から造形作品までさまざまな作品を制作する。感性・技術・デザイン能力のほかに、炉の前での作業に耐えるタフネスも必要になる。

窯芸コース[ガラス]では、「自分探し」を大切にしています。それはガラス工芸とは何ら関係のないもののように思えるかもしれませんが、この世に存在するすべての芸術作品は、自分とは何かということをしるべく理解したときに、初めて表現として成立するものです。入学後は、先生たちの話に耳を傾け、本学の魅力の一つである他分野との交流に積極的に取り組んでみてください。真に価値あるものづくりは、そこがスタート地点です。思い通りにいかないガラス素材との対話を重ね、自分にしかできない作品を作り上げてください。

Interview

ガラスとの対話を重ね、独自性を打ち出していきたい

幼いころ地元のガラス工房で吹きガラスの体験をしたことが忘れられず、基礎からしっかり学びたいと思い、本コースを選択しました。この道のスペシャリストである先生は、どんな技法にもチャレンジさせてくれます。地元で工房を構えるという夢を叶えるため、ガラスとの対話を重ねながら、少しずつ独自性を打ち出していければと思っています。



窯芸コース(ガラス)2年 後期生 (40歳/2011年度)

Class & Ceramics Course - Ceramics

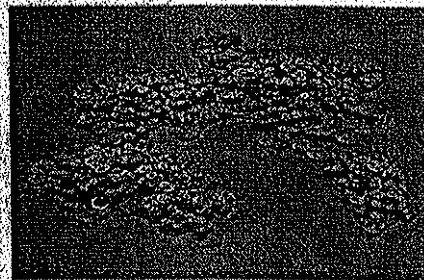
窯芸コース [陶芸]

安藤郁子 助教



河村孝雄 / Ope

高橋愛美 / 地を這う植物



土との関わりの中で、自分自身を探る。

ろくろや手びねりで“土のかたち”を立ち上げ、
窯焚きを経て作品にしていく陶芸。
その技法は遠か昔に確立され、受け継がれながらも
今も新しい“土のかたち”を求めて挑戦が続いている。

Interview 土という素材に離れさと やり甲斐を感じる

土に本格的に触れたのは、この学校に入ってから。以水、
力加減を間違えるとすぐに凹んだり割れたりする土という素材に離れ
さとやり甲斐を感じながら、充実した毎日を送っています。ぬくもりを感じさせる素材が
見直されている今の世の中で、一陶芸作家として自立できるように努力を積み重ね
ていこうと思います。

窯芸コース [陶芸] 2年
石川美穂 (北は道根町)

すべての体の感覚を開いて土と関わること。
それが陶芸です。失敗を恐れず土に向かい、
いろいろなことにチャレンジしてください。

土が持っている時間と自分の時間感覚をリンク
させていながら土との対話を重ねていくうちに、
自然と自分のかたちが見えてくると思います。

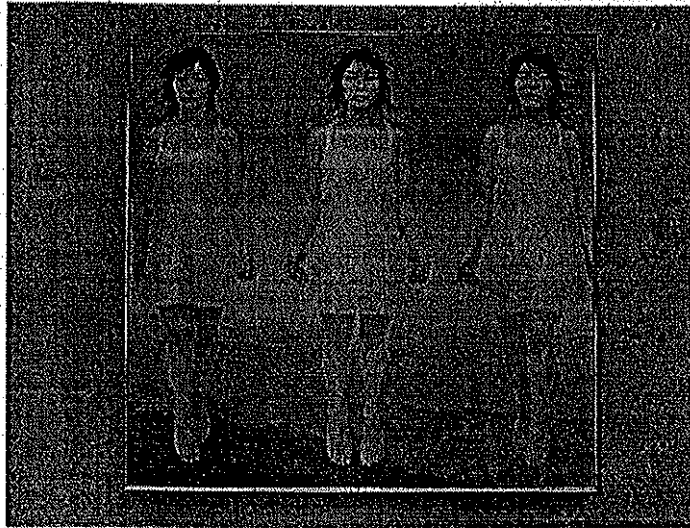
日々を暮らすこと、生きていくことと陶芸との関
係を深く思考しながら制作することで、美術・
工芸は社会の中でどのような意味があり、どのよ
うに力になっていけるのかが見えてくるはずです。こ
の場所を考え、たくましく行動できる人間に成長
してください。



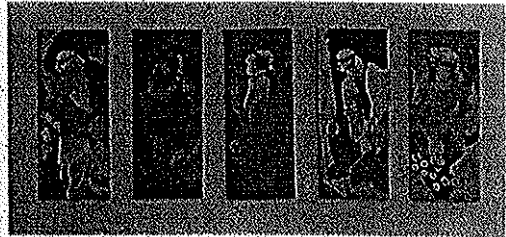
■ Fine Art Course

絵画コース

渋谷重弘 教授 鈴木司 教授



小原彰ノ半身



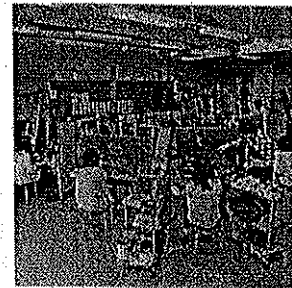
小原彰ノそれぞれ

苦しみは糧に、想いは光に。

油絵、水彩画、日本画など、
表現手法や使用する画材によって、
いくつかのジャンルに分けられる絵画の世界では、
何よりも個人のオリジナリティが求められる。

絵画表現の核となる部分、構図、色彩、空間などについてじっくり
学習していくほか、水彩、デッサン、油彩、アクリルのそれぞれの分
野において、古典技法から現代的なスタイルまでを実際に体験し、
自分に合った表現方法を探っていくのが絵画コースです。2年という
短い期間で劇的に腕を上げるのは簡単なことではありませんが、本
コースでは最低でも基礎がしっかり身につく授業を重点的に展開し
ています。

自分が表現したいことを、思い通りに表現できたときの喜びは何
物にも代え難いはず。時には重みの苦しみを味わうこともあると
思いますが、各々の目標をめざして、あきらめずトライし続けてくだ
さい。



Interview 絵画にはある種のパワーが宿ると思う

デジタルアートに注目の集まる今日ですが、私は自分の手で筆で
描く絵画を極めたいと思い本コースを選択しました。一枚の絵を
完成させるまでには根気のいる作業が続き
ますが、その分絵画にはある種のパワーが
宿ると思います。ここへ来て、どんな形でも
いいので一生絵を描き続けたいという
思いを日々強くしている自分がいます。



絵画コース 2年
高橋 梨咲 (秋田県秋田市)

Department of Industrial Design

産業デザイン学科

「普通を知り、革新を学ぶ。」

AMCAO

2011

大学案内



グラフィックデザイン分野



映像デザイン分野



パッケージデザイン分野



イラストレーション分野



平面構成分野



ウェブデザイン分野



インテリア建築デザイン分野



建築史・設計分野



デザイン計画分野



プロダクトデザイン分野



公共デザイン分野



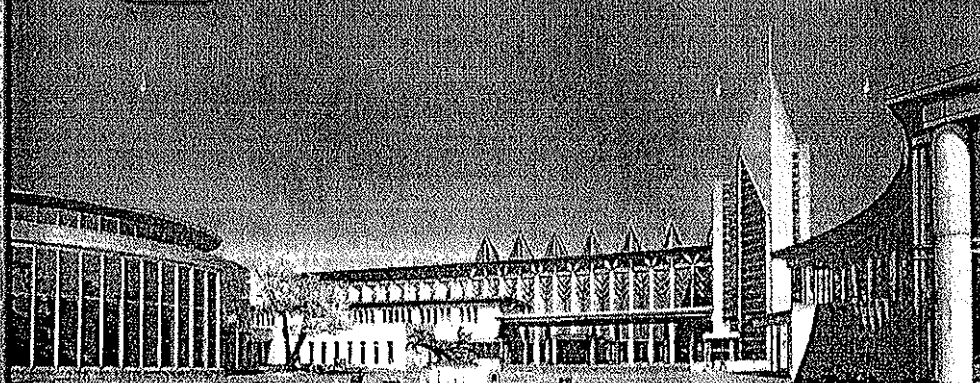
産業
デザイン
学科の横断

- いろいろなデザイン体験や研究のために、多彩な選択科目があります。
- 秋田県コミュニケーションセンターから進路を支援、探索できる科目があります。
- 学生が地域社会や地域産業へデザイン提案できる科目があります。



教育目標

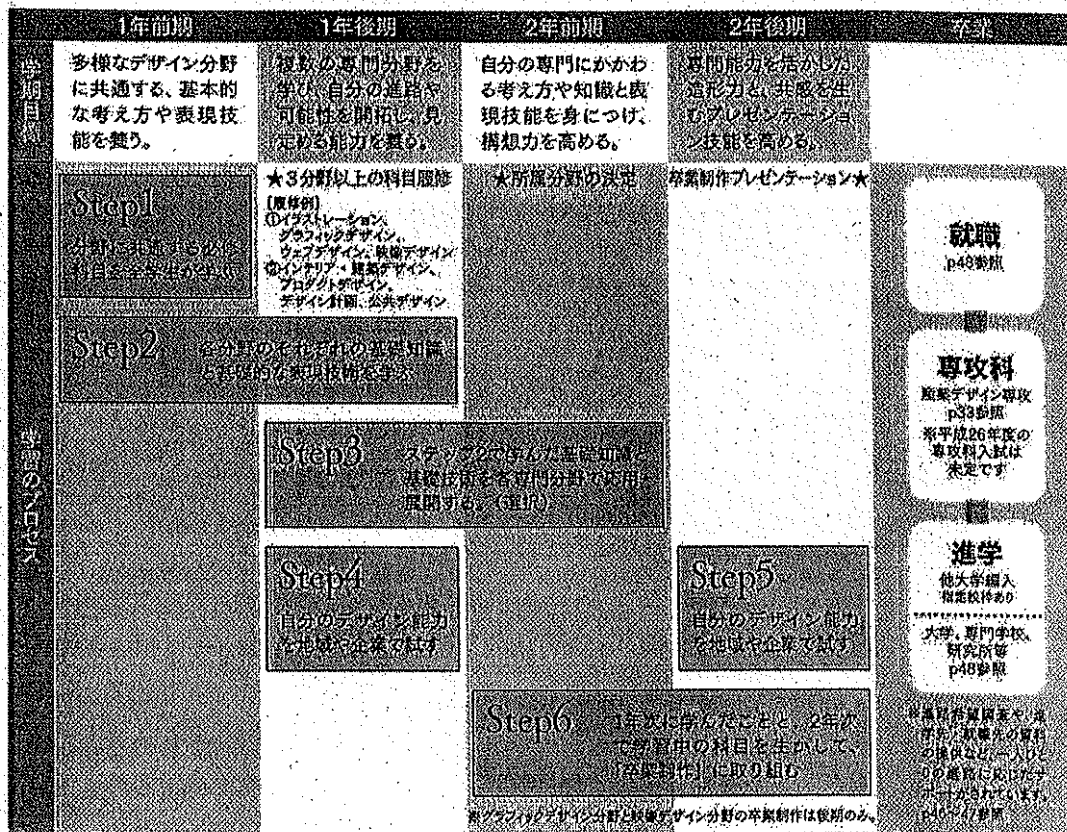
1. デザインの基礎的な知識と表現技術を身につけ、自ら進んでデザインを探究し、独自の世界を開拓するデザイナーの育成を目指します。
2. 社会を生むデザインで、地域や産業を元気にする人材の育成を目指します。



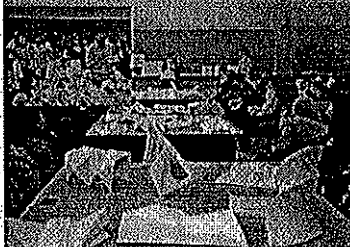
□□□■ 学習のプロセス・ピックアップカリキュラム

■学習のプロセス

産業デザイン学科には11の専門分野があります。概数(3~5)分野の科目を学べるので、デザインの視野と自分の可能性を広げられます。地域対応科目では、自分のデザイン能力を地域や企業で試すことができます。



■ピックアップカリキュラム

イラストレーション演習 様々な種類のイラストレーションの意味や目的を知り、きちんと相手に届ける表現を目指します。	立体デザイン基礎 表現の基礎技術としての立体造形、及び形態の発想訓練を行います。	地域対応演習 地域の企業や各種団体と連携し、デザインと地域の具体的な関わりをグループワークを通して学びます。
		

■カリキュラム

◎教養基礎科目群

教養基礎科目は一人一人の学生が確固たるアイデンティティを確立し、さらに社会人・職業人としての知識・教養を身に付けるための科目です。専門科目群との関連性を保ちながら、教養基礎科目のカリキュラムが構成されています。「人間と文化の理解」「現代社会の理解」「人間と自然・科学の理解」「外国語」「体育」の5分野から構成されます。

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
外国語	英語I 表現英語I 実用英語I	英会話II 表現英語II 実用英語II 英文読解	英語IIII 表現英語III	英語IIII 表現英語III
人間と文化の理解	地域文化論	心理学	比較文化論	国際関係論
現代社会の理解	生活と法律		生活と経済	生活と環境
人間と自然・科学の理解			科学技術と人間 生活と情報	

◎専門科目群 (11の分野から選べます)

専門科目は「デザイン」を志す学生に、デザインの意義や基礎的な専門知識と専門技術を、段階的に修得させることを目的としています。産業デザイン学科では、デザインに対する好奇心を増幅させ、学生の可能性をひらき、自立した職業人を自ら作り上げる一助として、11の専門分野にかかわる豊富な選択科目を用意しています。

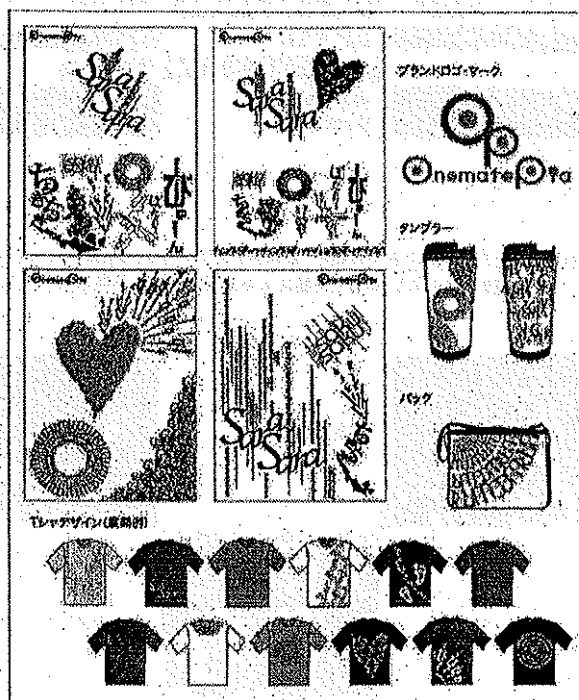
専門科目	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
基礎必修科目	デザイン概論 情報リテラシー 西洋美術史 美学 材料学	デザイン計画概論 東洋工芸史 西洋美術史 情報デザイン入門 情報デザイン入門 プログラミング入門 グラフィックデザイン概論	商品企画演習 工芸概論	
技術必修科目	平面デザイン基礎 色彩基礎 立体デザイン基礎 デザイン演習 デザインスケッチ演習 コンピュータ表現基礎 図学演習 造形表現基礎(素描・彫刻)	プログラミング演習	企画のグラフィック表現演習 撮影演習基礎 工房演習基礎	CGプログラミング
知識修得科目		映像デザイン概論 構成論 プロダクトデザイン概論 公共デザイン概論	インテリア・建築デザイン 概論 インターフェイスデザイン論	
技術修得科目		プロダクトデザイン製図 映像表現演習 建築CAD入門 イラストレーション基礎	モデリング演習 ビジュアルアート演習 CGモデリング 彫刻演習 建築CAD演習 ワイヤグラフィック演習 シルクスクリーン演習	
分野応用科目		グラフィックデザイン演習A-I グラフィックデザイン演習B-I パッケージデザイン演習I イラストレーション演習I 平面構成演習 ウェブデザイン演習I インテリア・建築デザイン 演習I 建築史・意匠演習I プロダクトデザイン演習I 公共デザイン演習I	グラフィックデザイン演習A-II グラフィックデザイン演習B-II パッケージデザイン演習II 映像デザイン演習 イラストレーション演習II ウェブデザイン演習II インテリア・建築デザイン 演習II 建築史・意匠演習II プロダクトデザイン演習II 公共デザイン演習II	
地域対応科目		地域対応演習I		地域対応演習II
卒業制作			卒業制作I	卒業制作II

※太字は必修科目、斜字は選択科目です。

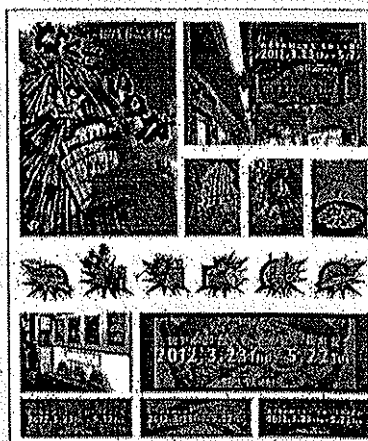
Graphic Design

グラフィックデザイン 分野

官能右泰 教授



中西彩子ノ瀬戸組ブランドの提案



工藤理美ノJR東日本秋田をPRするための広告プロジェクト



キーワードは、地域デザイン。

ポスター、新聞広告、エディトリアル、
ジェネラルグラフィックといった
デザインを手がけるグラフィックデザイナーには、
幅広い知識に加え、
積極的な行動力と魅力あふれる感性が強く求められる。

本分野では、グラフィックワークの基本を教えることはもちろんで
すが、ここ数年は「地域を意識したもののづくり」を重点的に指導して
います。

それは地元企業とのコラボレーションであったり、まちづくりや観光
産業に貢献する作品づくりであったり、形態はさまざまですが、地域と
のつながりを意識しているという点で目的が一致しています。

これからの時代、クリエイターに求められる資質としては、「地域
ビジネスに結びつく提案のできる能力」がとんとん大きくなってい
きます。この道のプロをめざすのであれば、学外にも積極的に飛び
出し、さまざまなフィールドで今しかできない経験を積んでください。

Interview

タイポグラフィーの有用性と可能性を追求したい

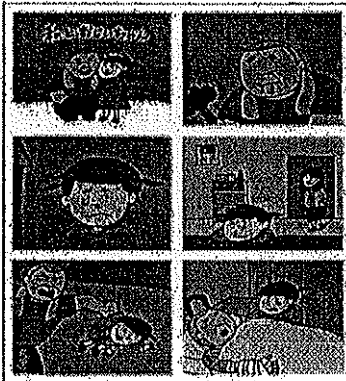
グラフィックを選じた理由は、タイポグラフィーの有用性と可能性を追求してみたいと思ったから。聞けば何でも答えてくれる先生の豊富な知識に圧倒されながら、今は少しずつ色々なことを吸収しています。タイポグラフィーはまだまだ掘り余地がある分野だと思っています。一生懸命学んで、新しい表現スタイルを確立していきたいです。

グラフィックデザイン分野 2年
（特別展覧会 山形県立美術館）

Motion Graphic Design

映像デザイン分野

坂本 謙信 准教授



萩野由和画/私とおじいちゃん(アニメーション)



竹内めい/Im here(イラストレーション)

それは、
イメージに命を与える技法。

番組制作からCM、ゲーム、そして先進のIT分野まで。

さまざまなシーンで当たり前のようにCGが使われる現代、映像デザインの領域は、
いっそう広がりを見せている。

Interview 先輩たちが手がけた卒業作品の
レベルの高さは圧倒的

先輩たちが卒業プレゼン用に手がけた作品のレベルの高さに
圧倒され、すごい「面白い」「自分もやってみたい」と思ったのが
本分野を選んだきっかけです。知里ゼ
ロからのスタートだったのでソフトの使
い方を覚えるのも一苦労でしたが、
先生の親身な指導のおかげで、少し
づつですが前進している実感があ
ります。毎日がとても充実しています！

映像デザイン分野 2年
芳賀さくら (岩手県産同市)

本分野では動くグラフィックデザインを学び
ます。フライングロゴ、シンボル、ロモーション、
タイトル、ミュージッククリップ、ショートムービー、
アニメーション等、動くものであれば何でも研究
の対象になります。

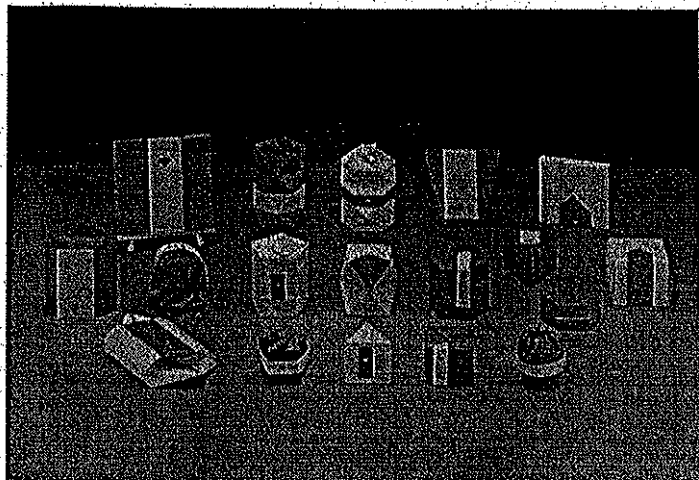
この道のプロをめざす上で一番大切なことは、
「自分は世界の誰よりもデザインが好きだ」と思
い込むこと。単に与えられた課題を消化するだ
けでは、才能は開花しません。24時間365日地
道な努力を続け、どんな道に向き合っても、個性豊
かな表現ができるよう余力で取り組んでください。



Package Design

パッケージデザイン分野

孔 鎮 烈 准教授



米穀類・贈り物のためのパッケージデザイン



加納清子/トイデジタルカメラとレンズのパッケージデザイン

変革の時代、 チャンスはすぐそこ。

パッケージは、内容物の本質や魅力を
伝達する最大の価値媒体。
企業の販促活動や商品のブランディングにおいては、
いつの時代も変わらず重要視され続けている。

マーケティングやブランディング、あるいはショップの販売シーンに
おいて重要な役割を果たすパッケージ。本分野ではその素材や構
造と、デザインを構築していく上で必要な知識を学びます。

授業では実際の商品パッケージを分析し、欠点を追求して新た
なパッケージを作ったり、架空の商品をイメージして試作を行ったりも
します。

近年のパッケージデザインは、大きく「エコ」にシフトしています。基
本的に買物が増えたあとは不要になるツールの効率的なリサイク
ルを実現するため、変革の時代に新しいトレンドを生み出すために、
本分野で基礎をしっかりと身につけてください。



Interview

手元に残しておきたいと
思われるようなものを作りたい

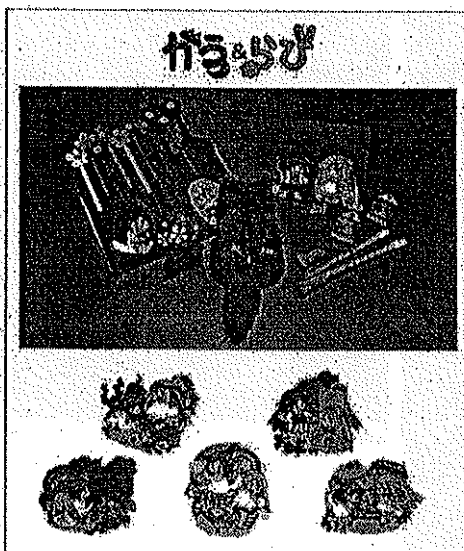
幼いころから中身よりもパッケージが好きで、気に入ったもの
は、ずっと大切に保管しています。でも私がこの学校で学び
取り組んでみたいと思ったのが、特
のパッケージデザイン。昔のパッ
ッケージって、あまり重要視されて
いないというか、画一的で面白
みが少ないですよね。手元に
残しておきたいと思われるよ
うなもの、知って形にし
たいです。

パッケージデザイン分野 2年
白藤 菜生(白藤 菜生)

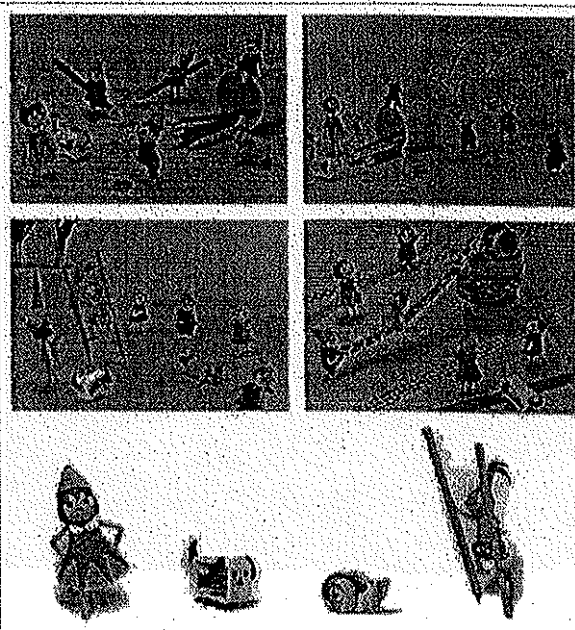
Illustration

イラストレーション分野

丸岡慎一 助教 阿部由布子 助教



流野画美 / かろらび



佐々木ちひろ / ペンシルちゃん

拡張していく ヴィジュアルの概念。

イラスト表現に必要不可欠なもの、それはデザイン力と、見る人を惹きつける色彩表現力。加えて感性を磨く努力と、日々の訓練を怠らないことが大切になる。

Interview 厳しい世界で生き抜くため、基礎をしっかり身につけたい

自分の画風をとことん追求するというよりも、私には色々なタッチを使い分けられる商業イラストレーターの方が性格的に合っていると思います。本分野も選択しました。商業イラストの世界ではクライアントのニーズは多岐に渡り、制作時間も限られていると聞きます。そんな世界で生き抜くために、ここでしっかり基礎を身につけたいと思います。

イラストレーション分野 2年
岩崎菜月 (札幌市在住)

本分野では文字通りイラストレーションの基礎を学びます。

アウトプットの形態は、絵本、ポスター、アート色の強いもの、ゲームのキャラクターとさまざまですが、ここでの授業のベースにあるのは単にイラストを描くことではなく、「自分自身の内なる思い」をしっかりとカタチにして解けるということ、可能性を広げるために、時には他ジャンルの表現手法を前向きに取り入れる姿勢も大切になってきます。

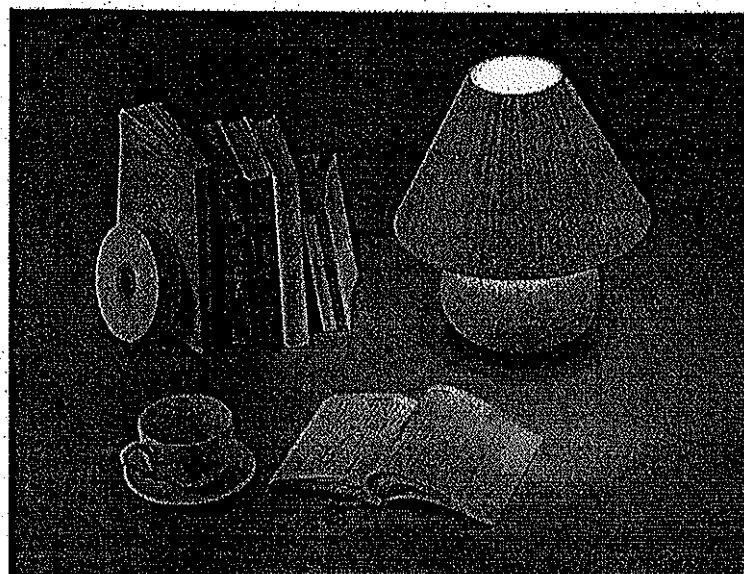
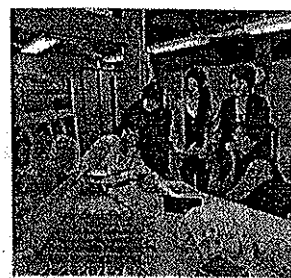
多くの作品に目を通し、多くの画材に触れて表現の可能性を試し、自分の視野を少しずつ広げながら、「伝わる」作品づくりをめざしてください。



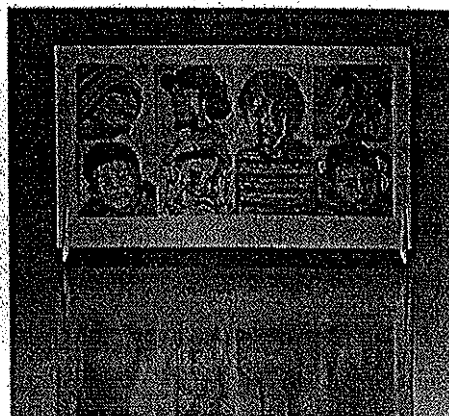
Constructive Art

平面構成 分野

金孝卿 准教授



木元実月 / I-BOOK



長岡吹和 / 面成る

あくなき探求の先に、見えてくるもの。

平面構成は、色と形に関する造詣を深める分野。さまざまなルールと応用方法を学びながら、個人の美的センスを鍛えるというトレーニング的な側面を併せ持っている。

本分野では、あらゆる造形に共通する形態、色彩、材料などについて、深く専門的に学びます。

分かりやすく言うと「○」「△」「□」だけを使って平面・立体のオブジェを構成したり、人の目の錯覚を利用した錯視の表現が可能です。作品の発想力と応用力を活かし、説明がなくても意味が伝わる造形作品の制作をめざします。

本分野で身につけた能力を活かせるフィールドは豊富で、デザイン、印刷、編集、工芸等、将来的に幅広い領域に対応できます。色と形、材料などに興味を抱いた人は、本分野で造形に対する理解を深めてください。

Interview 平面構成の方法論は、色々な分野に応用できる

単純な色や形にちょっとした変化を加えるだけで、見え方がまるで違ってくる平面構成の方法論。訓練と研究を重ねていく過程で、その方法論は色々な分野に応用できるという自信がどんどん強くなっています。卒業後、たとえデザイン関係に近づくなくても、ここでの勉強が活かせるシーンはきっとあると思うので、どんな道に進んでも活かしていこうと思います。

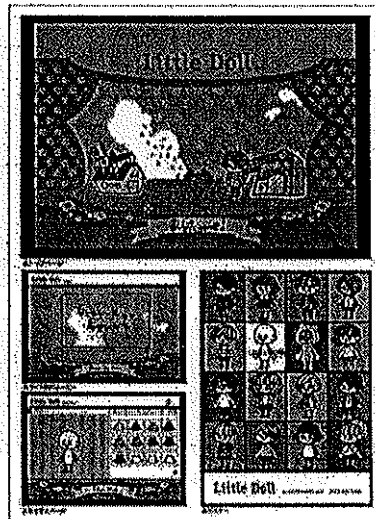
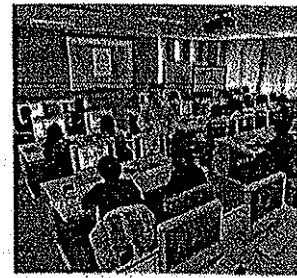


平面構成分野 2年 菊池茜 (秋田県秋田市)

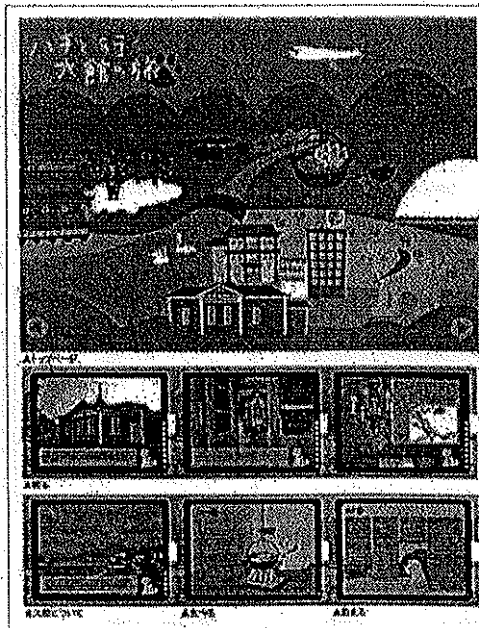
Web Design

ウェブデザイン分野

奥領典 准教授



高橋幸野也 / Little Doll



工藤あずさ / ハナと宮崎の旅

世界の新しいパラダイムを求めて。

サイトの善し悪しを決める要因は、利用者をいかにスムーズに目的へ導くことができるかどうか。ユーザビリティの追求こそが、いま最も必要とされている。

Interview 本分野には、じっくり学べる環境が整っている

高校の時、趣味でホームページを作り始めたのですが、独学ではプロの方たちが作るページに近づくのは難しいと感じ、ここで本格的に勉強してみようと思いました。本分野には的確なアドバイスしてくれる先生をはじめ、パソコン、周辺機器、アプリケーションとじっくり学べる環境が整っています。ここへ来て、プロへの道が少し開けた気がします。

ウェブデザイン分野 2年 森山ひかる (秋田県秋田市)

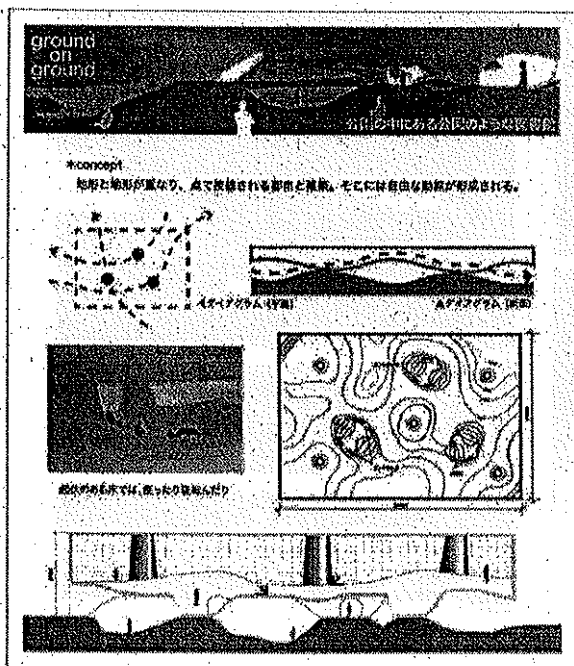
「世の中にあふれる情報を、効率的に、自分から取り入れるためにどういった工夫が必要になるのか」。本分野は、そうしたコミュニケーションデザインの基本を学ぶことからスタートします。

ウェブデザインは、まだ10年足らずといったところですが、今や子どもからお年寄りまで幅広い層が利用するウェブサイトは第5のメディアと呼ばれ、日々拡大し続けています。そうした中、今日のウェブデザイナーに求められることは、ユーザビリティに優れたサイトを構築する能力です。ユーザーのニーズを敏感に察知し、真に使いやすいインターフェースの開発をめざして、本分野でしっかりと基礎を築いてください。

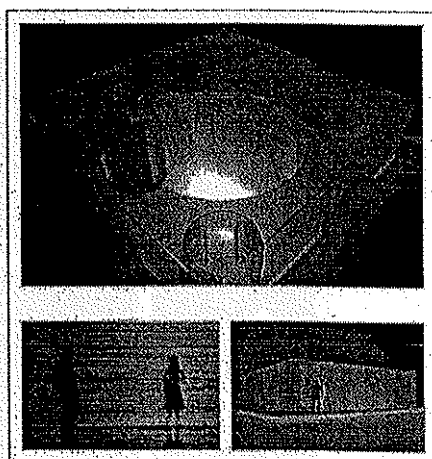
Interior & Architectural Design

インテリア・建築デザイン分野

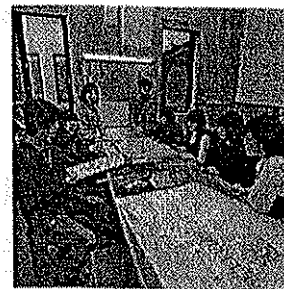
石垣光 准教授



前道義有 / ground on ground - 開かれた建築



奥山泰平 / 横尾建築



トライアンドエラーの先に、 見えてくるもの。

建築は、この世に人が存在する限り
無くなることのない分野。

建築設計、空間デザイン、インテリアデザイン、
都市計画と、見るべき、学ぶべき対象の広さも
特徴的と言える。

本分野はインテリア・建築を表現する方法として、図面、模型といっ
たものを中心に授業を展開します。

授業で特に重視していることは、外観だけではなく、建物と人、
人とインテリアの関係性を考えた表現を心がけること。建築のハード
面だけをクローズアップするのではなく、たとえば模型の中に人型のオ
ブジェクトを配置してみて、そうすればそこにコミュニケーションを発見
させられるかといったことを深く追求していきます。

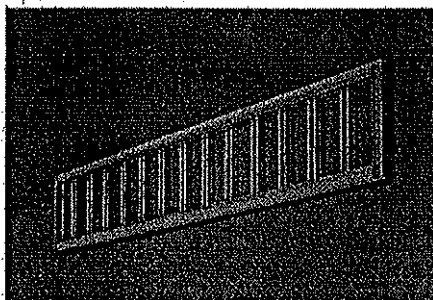
本分野を志望する学生に期待することは、考えたら、とにかく一度
行動してみること。最初からうまくいく人はいません。トライアンドエラー
を繰り返しながら、いずれ社会で生きる力を身につけていってほしい。



Architectural History & Design

建築史・意匠分野

澤田 享 教授



五十嵐彰乃／竹の節模倣



秋田を巡る。



秋田を巡る。



橋本太朗／秋田の建築文化財を描く

故きを温ね 新しきを知る。

日本（西洋）建築史の研究は、
歴史の空白を埋める作業として重要視されているのはもちろん、
日本文化のアイデンティティを認識、探求していく上でも、非常に重要な意味合いを持っている。

Interview 日本の古建築には、
学ぶべき点がたくさんある

昔から古い建物を見るのが好きで、中でも釘を使わずに構造
躯体を組むという日本古来の工法に興味がありました。日本の古
建築には、見るべき点、学ぶべき点
たくさんあります。将来はここで得た
知識を単に後世へ伝えるだけでなく、
現代建築との融合を試みなが
ら、新しい技法を生み出して
いけたらと思っています。

建築史・意匠分野 2年
高橋優希（秋田県秋田市）

本分野では建築の歴史を学ぶことが主になり
ます。具体的には先人たちが残した建築の技術
や粋といったものを、細部までよく観察し、そこに
普遍的な芸術性を探っていきます。

日本（西洋）古来の建築技術を教える学科は、
一般的に論文を書く教壇と思われがちですが、本
学は決してそうではありません。2年次には台紙に
平面図を描いて起こし、建物の立体的な構造を
再現する折り畳み式の模範（起絵図）にも着手す
るほか、建築デザイン、文様の再現なども行い、よ
り実践的に建築史を学びます。

故きを温ね新しきを知るの精神で、先人たちの
残した優れたアイデアから、現代の社会で活かせ
る新しい解釈、独自の方法論といったものを見い
だして欲しい。



Planning of Design

デザイン計画分野

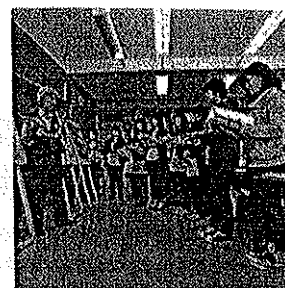
渡邊有一 教授



石井明日香／新屋アートうどん



松野穂穂里／ホン／honno秋田をPRするための小さなメディア



ワクワクする夢を走らせよう。

世の中の中あちこちの事象を敏感に
キャッチしながら、新しいライフスタイルを
クリエイトしていくデザイン計画。
すべては、平和で楽しく心豊かな夢を
思い描くことからスタートする。

デザイン計画とは平和で楽しく心豊かな夢を描き、それを実現させる
ための方策を練ること。自分自身が感動し、周りの人々も感動するよう
なシーンを思い描くことが、本分野のスタートです。

ポイント①独りよがりな夢ではなく、共感を生む企画・提案を意識す
ること。テーマは学生自身で設定しますが、本分野では人の心に訴え
るプロダクト、デザイン。プレゼンテーションに必要な知識とスキルを
一からじっくり学べる環境を提供します。

目的達成のためにグラフィック、環境、プロダクトといったジャンルに
こだわる必要はありません。世の中の中あちこちの事象を敏感にキャッチし
ながら、社会や個人が抱える問題を解決し、皆が憧れるようなライフ
スタイルのデザインをめざしてください。

Interview 広い視野、企画提案力、コミュ ニケーション能力を養いたい

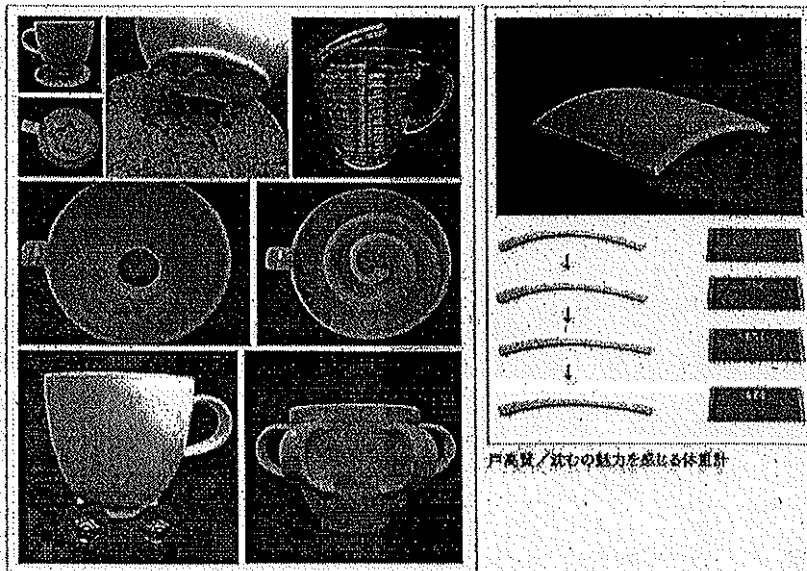
大学に入る前はグラフィックを専攻しようと考えていたのですが、
渡邊先生に出会い、一つのデザインを具現するための調査、
企画、提案というプロセスに興味を
持いました。いずれ社会で自分のデ
ザインを相手にしっかり伝えられるよ
う、ここで広い視野、企画提案力、
コミュニケーション能力といったも
のを養っておきたいと思っています。

デザイン計画分野 2年
成田松里香 (写真提供：成田)

Product Design

プロダクトデザイン分野

五十嵐潤 教授



戸高賢ノ流木の魅力を伝える体置計

和山製与ノ仕掛けと反響の掛け合わせによるアイデア出しの研究

当たり前を少し変えてみる、 という選択。

生活に必要な道具、機械、製品のデザイン全般を意味するプロダクトデザイン。
この分野では現在、消費者の幅広い趣味嗜好に対応できる多様な視点が強く求められている。

Interview 今まで世の中になかったものを形にしていく面白さ

プロダクトデザインには、今まで世の中になかったものも形にしていく面白さがあります。大学では色々な素材に触れられるので、その分、視野がどんどん広がっていき、将来の事はプロダクトデザイナーになることですが、このデザインはこの人にしかできない、と言われるものを世に送り出せるよう、しっかりスキルを磨きたいです。

プロダクトデザイン分野 2年
谷本 雅司 (和山製与製) 氏

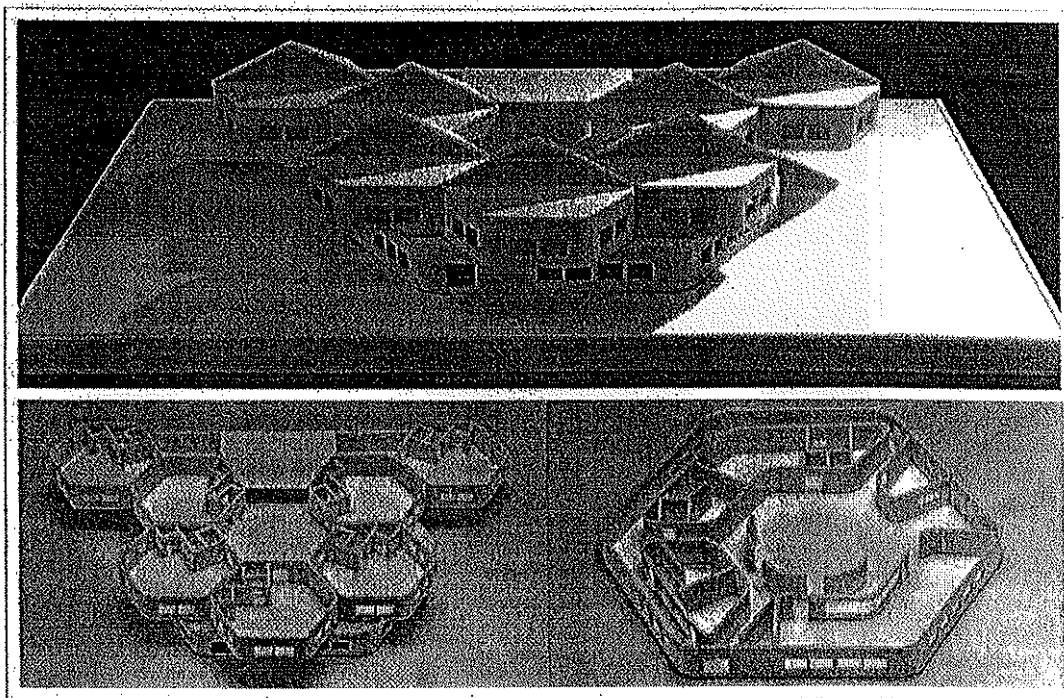
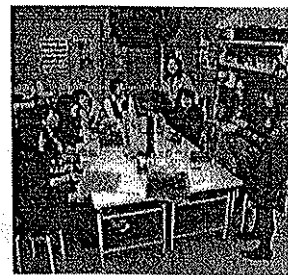
本分野では、道具のデザインを学びます。
研究や実習に取り上げる対象は、私たちの身近に存在する道具。たとえば食器や靴、文具といった生活用品が中心になります。
本分野における一番の醍醐味は、日常的なもの、当たり前が存在しているものに対して違った視点を持つこと。それまで普通に接していたものが、すごく新鮮に感じられたり、皆が気づいているようで、実は誰も気づいていなかったというような驚きの発見があったり。
得てして新しいと感じさせるアイデアは、足元に見え隠れしているものです。アンテナを張りめぐらせ、いつもと少し見方を変えて、人の心を揺さぶるアイデアを探し当ててください。



Public Design

公共デザイン分野

菅原香織 助教



佐藤博波／かべれんぼハウス。～銭商の小屋屋敷者と家族のための施設～

ともに気づき、ともに築く

公共デザインはベンチや標識といった街中の美観、
広くは都市計画までを包括する概念。
市街地の空洞化が深刻化している昨今、同分野は
地域活性化の側面からも大いに注目されている。

本分野のスタート地点は「こうなればいいね」「こういうのがあればいいね」といった、ちょっとした「気づき」。たとえば子どもたちの外遊びの機会が減ってきている点に着目し、街中を歩きながら、昔の空き地を現代風に再現できるような場所を探して企画を立て、まちづくりに関わっているNPO団体などに働きかけるといったところまでを、実際にこなしていきます。

いつまでも安心して暮らし続けられる町や、人が自然と集まってくる町を実現するためにはどのようなものが必要になるのか——プレゼンテーションや情報発信の方法も含め、本分野で実践的なノウハウを身につけてください。

Interview 卒業後は、まちづくりに関わる職業に就きたい

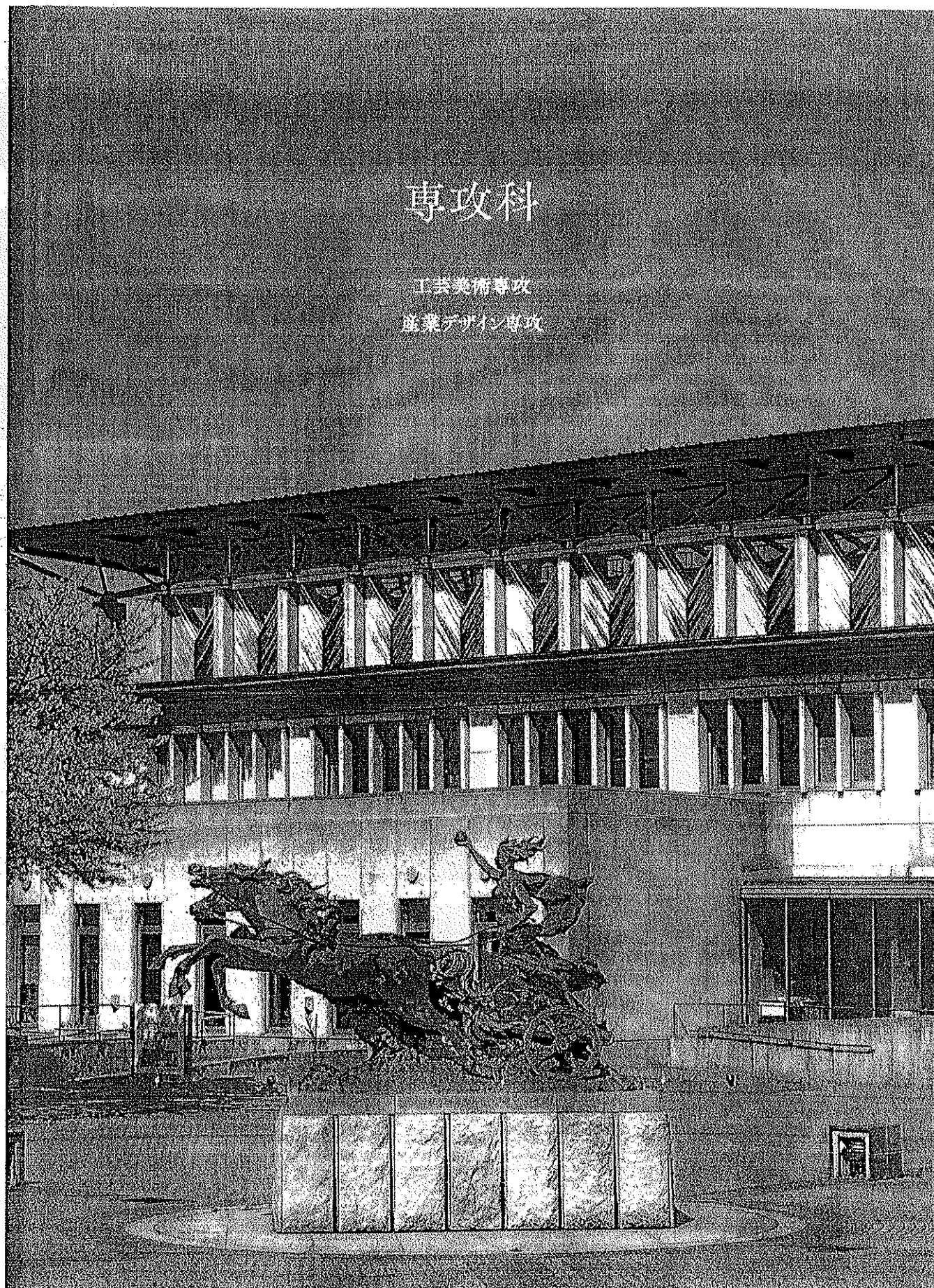
本分野の一番の魅力は、私たちとくみくみ5人に張ってくれる先生のバウフルなキャパ[ワークショップやフィールドワークの多さ]も特徴的です。中でも地域のみなさんと協力し合い、一つのイベントを運営する授業はとても刺激的で、貴重な体験でした。将来はここで学んだことを活かし、まちづくりに関わる職業に就きたいと思っています。

公共デザイン分野 2年
堀土かりん(仮姓・現所属)

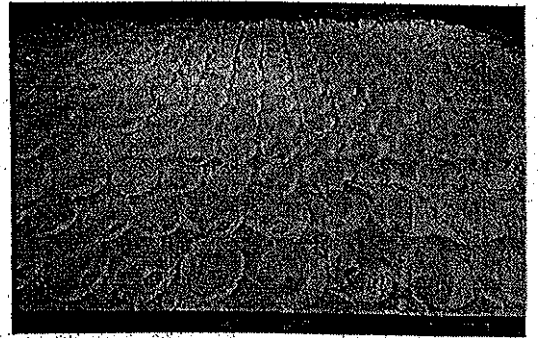
専攻科

工芸美術専攻

産業デザイン専攻



「ものづくり」には技術と知識、時間と空間、
そして創造力が不可欠。
もう少し学びたい、もう少し作りたい、
そんな人のために専攻料があります。
自分の発想をより計画的なプロセス、
より高い技能で独創的な「カタチ」に創り上げる1年間です。



桃田圓希／たれかの茶碗



期刊多資料庫

[illegible]

饺子制作

木工、泥工、彫金、鋲金、精、英色、
粉、漆、木器、軟面

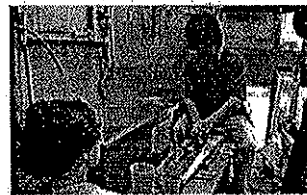
1. 西洋、東洋、近代、日本工芸、古典美術等、美術工芸系諸書から、広く表現の知識を学べる科目が用意されています。
2. 制作現場を多く視察出来る科目と、多分野の歴史的作品を現地調査し、表現に生かしていく、体験型科目が用意されています。



川運漆器伝統工芸館



日光市神邸



久業社有限あわび曲館大

地域文化と深いかかわりをもつ県内の
工芸産産地を訪れ、生産現場の現状を
把握するとともに、産業工芸品の製品
調査をおこない、今日の生活者が求め
ている工芸品へのイメージと期待を分
析します。様々な業種にわたって10箇
所前後の生産現場を視察します。

ものづくりの原点ともいえる、古美術作品の研究を通じて美術工芸への理解と、作品創作のための知識を深めることを目的に、国内の神社・道跡・並びに歴史的に見て重要な絵画・彫刻・工芸品等の調査研究を行います。その内容は栃木県日光市の、東照宮他2社1寺を中心とする建築、美術工芸作品の現地調査と、東京国立博物館等の展示施設における日本、東洋の古美術作品の研究と、夏休身体験中の3日間を利用し研究旅行の形式で実施します。

教育目標

美術・工芸・デザイン分野の高度な専門知識と技術を教授し、優れた芸術家・デザイナーの育成を目指します。

産業デザイン専攻

産業デザイン専攻は、今まで学んできたデザイン分野についてより深く学び、研究や作品制作により磨きをかける場です。就職のために実力をつける、4年制大学に進学する力をつける、専門分野をより深く研究する等、学ぶ目的を明確にしているひとに門戸を開いています。



産業デザイン専攻利用一覧

専門基礎科目

日本美術史概論、近代美術概論、北斎美術史概論、明治美術史概論

専門技術科目

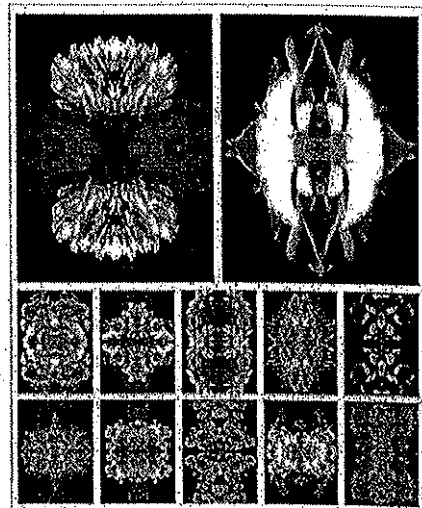
デザイン基礎概論
パソコン・グラフィック・イラストレーション・イラスト
写真・平面構成・オートデスク・インデザイン表現
デジタル・デザイン・情報デザイン

専門応用科目

グラフィックデザイン研究ⅠⅡ
グラフィックデザイン研究ⅢⅣ
グラフィックデザイン研究ⅤⅥ
グラフィックデザイン研究ⅦⅧ
グラフィックデザイン研究ⅨⅩ
グラフィックデザイン研究ⅪⅫ
グラフィックデザイン研究ⅬⅭ
グラフィックデザイン研究ⅮⅯ
グラフィックデザイン研究ⅰⅱ
グラフィックデザイン研究ⅲⅴ
グラフィックデザイン研究ⅵⅶ
グラフィックデザイン研究ⅷⅸ
グラフィックデザイン研究ⅹⅺ
グラフィックデザイン研究ⅻⅼ
グラフィックデザイン研究ⅽⅾ
グラフィックデザイン研究ⅿⅿ

専攻必修

専攻創作ⅠⅡ



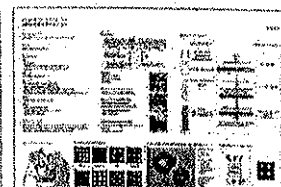
資料提供：mising link

【産業デザイン専攻の特徴】

1. 「デザイン表現演習」は7科目あり、自由に選択履修できます。他分野の表現技術を学ぶことで、所属分野の表現力の幅が広がります。
2. 「地域産業デザイン研究」は、複数の専門分野にまたがる科目です。複数の異分野を結びつける、ディレクション能力の養成も目指しています。



キャラクターを使った秋田県活性化プロジェクト



復興元気づけプロジェクト

地域産業デザイン研究

秋田の地域産業の活性化を目的に、デザインの立場から新事業(プロジェクト)の提案を行います。授業は実態調査をもとに地域産業の利点と問題点を洗い出すことに始まり、より良い活性化策を研究、具体的な事業提案という流れで進行。学生により取り組むテーマは異なりますが、たとえばテーマが地場産品の販売促進であれば、新商品の企画からセールスプロモーションに至るまで、総合的なプロジェクトの立案を行います。デザインをビジネスの視点から提案し、実現するためのプロデュース能力を養ってください。

2011秋田公立美術工芸短期大学学報（抜粋）

○短期大学の現況

1 学科の構成

学科・専攻科	入学定員	総定員
工芸美術学科	60	120
産業デザイン学科	90	180
工芸美術専攻	10	10
産業デザイン専攻	15	15

2 学生数および専任教員数（平成23年 5 月 1 日現在）

(1) 学生数

		学生数	1 年	2 年
工芸美術学科	(男)	10	5	5
	(女)	113	54	59
	(計)	123	59	64
産業デザイン学科	(男)	21	10	11
	(女)	186	79	107
	(計)	207	89	118
学 科 計		330	148	182
工芸美術専攻	(男)	1		
	(女)	9		
	(計)	10		
産業デザイン専攻	(男)	2		
	(女)	5		
	(計)	7		
専 攻 科		17		
総 計		347		

(2) 専任教員数

	教員数	教 授	准教授	助 教
工芸美術学科	13	5	6	2
産業デザイン学科	16	6	7	3
合 計	29	11	13	5

3 教育目標

工芸美術学科の教育目標

- (1) 美術工芸の知識と技術を身につけ、創造性に満ちた個性豊かな芸術家の育成を目指す。
- (2) 社会生活における美術工芸の役割を認識し、芸術文化の社会浸透を担う人の育成を目指す。

産業デザイン学科の教育目標

- (1) デザインの基礎的な知識と表現技術を身につけ、自ら進んでデザインを探究し、独自の世界を開拓するデザイナーの育成を目指す。
- (2) 共感を生むデザインで、地域や産業を元気にする人材の育成を目指す。

専攻科の教育目標

美術・工芸・デザイン分野の高度な専門知識及び技術を教授し、優れた芸術家・デザイナーの育成を目指す。

○開学からの歩み

平成7年度

- 4月 開学記念式典および祝賀会開催
第1期生入学
- 10月 インターネット・ホームページ開設
- 11月 開学記念祭開催

平成8年度

- 4月 大学開放センター「アトリエももさだ」オープン
- 10月 第1回「ももさだ祭」開催

平成9年度

- 5月 第17回東北建築賞作品賞受賞
- 7月 衆議院文教委員会視察調査
- 10月 平成9年度グッドデザイン施設認定証受賞

平成10年度

- 11月 第39回建築業協会賞受賞
- 3月 教員展（アトリオン）

平成11年度

- 10月 第13回市民が選ぶ都市景観賞受賞「アトリエももさだ」
校歌・校章制定発表会

平成12年度

- 11月 第7回公共建築賞受賞（本学校舎）
- 3月 新学長に石川好氏を内定

平成13年度

- 4月 石川好新学長就任
- 3月 修了制作展初の学外展（アトリオン）

平成14年度

- 5月 全国公立短期大学協会総会を本学で開催
- 9月 実習棟A改修工事竣工
- 3月 卒業・修了制作展初の学外展（アトリオン）

平成15年度

- 9月 実習棟B改修工事竣工

10 月 秋田県における大学・短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定書及び覚書締結

平成 16 年度

4 月 秋田県における大学・短期大学及び高等専門学校間の単位互換学生受入開始
9 月 実習棟 C 改修工事竣工
3 月 大学開放センター作品展示室改修工事竣工

平成 17 年度

4 月 大学開放センター作品展示室オープニングセレモニー開催
9 月 開学 10 周年記念式典・祝賀会開催
11 月 開学 10 周年記念植樹実施

平成 18 年度

4 月 角館作品展「結」開催
3 月 新学長に樋田豊次郎氏を内定

平成19年度

4 月 樋田豊次郎新学長就任
9 月 秋田わか杉国体公開競技スポーツ芸術 秋田公立美術工芸短期大学作品展開催
(秋田拠点センターアルヴェ)

平成20年度

9 月 戦略的大学連携支援事業（プロジェクト 4 A）の共同実施に関する協定を締結
10 月 産学連携事業「裸婦デッサン講習会」開催
3 月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による短期大学機関別認証評価で評価基準に適合しているとの評価を受ける

平成21年度

5 月 韓国・大邱大学校との日韓学生交流作品展を開催
11 月 国際シンポジウム「楽浪漆器出土に学ぶ〈アジア造形文化を繋ぐ思想〉の研究」開催

平成22年度

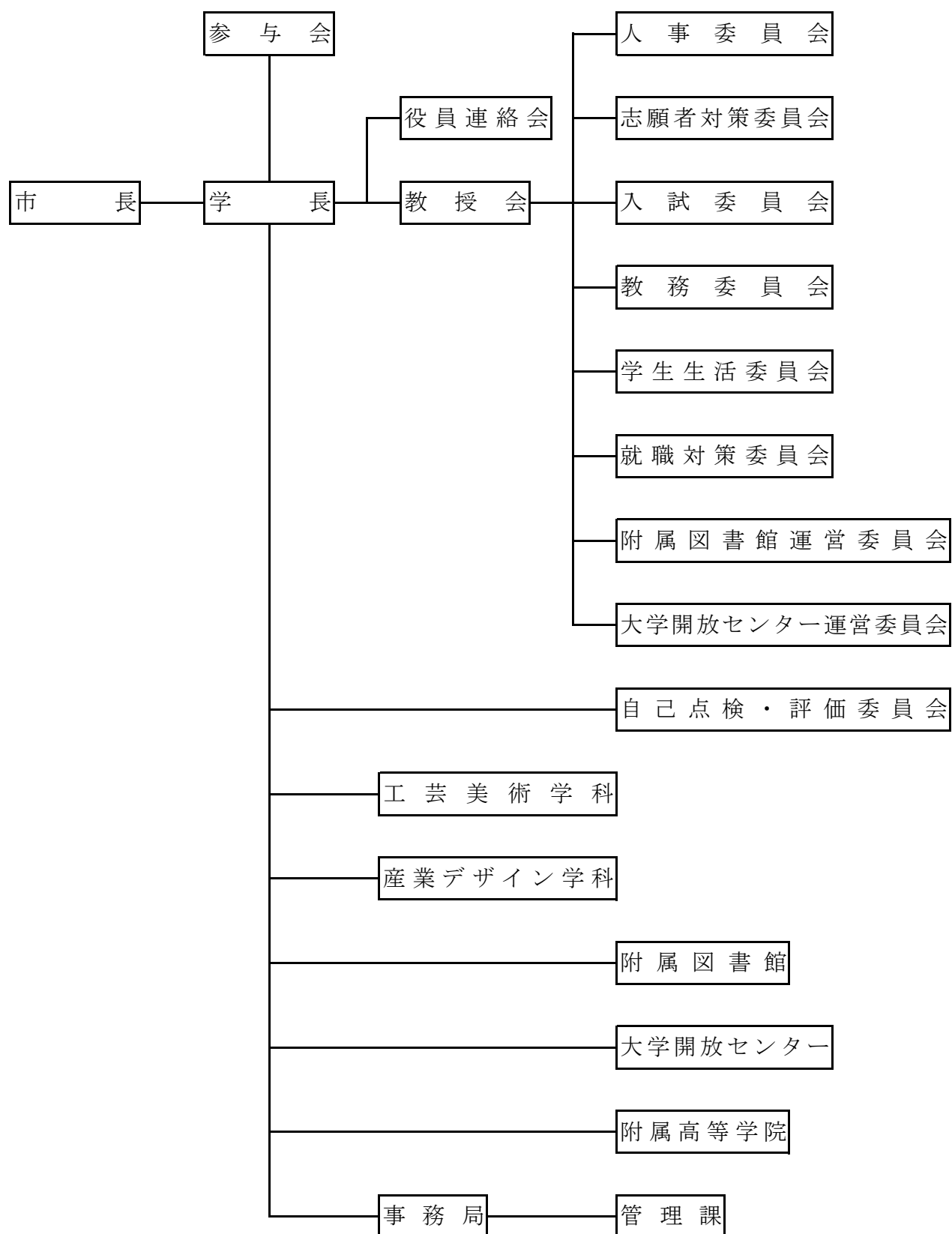
10 月 秋田県立近代美術館において教員展を開催
3 月 東日本大震災により秋田市文化会館での卒業式を中止し、急遽大講義室で卒業証書・修了証書授与式を執り行う

○平成22年度の主な行事

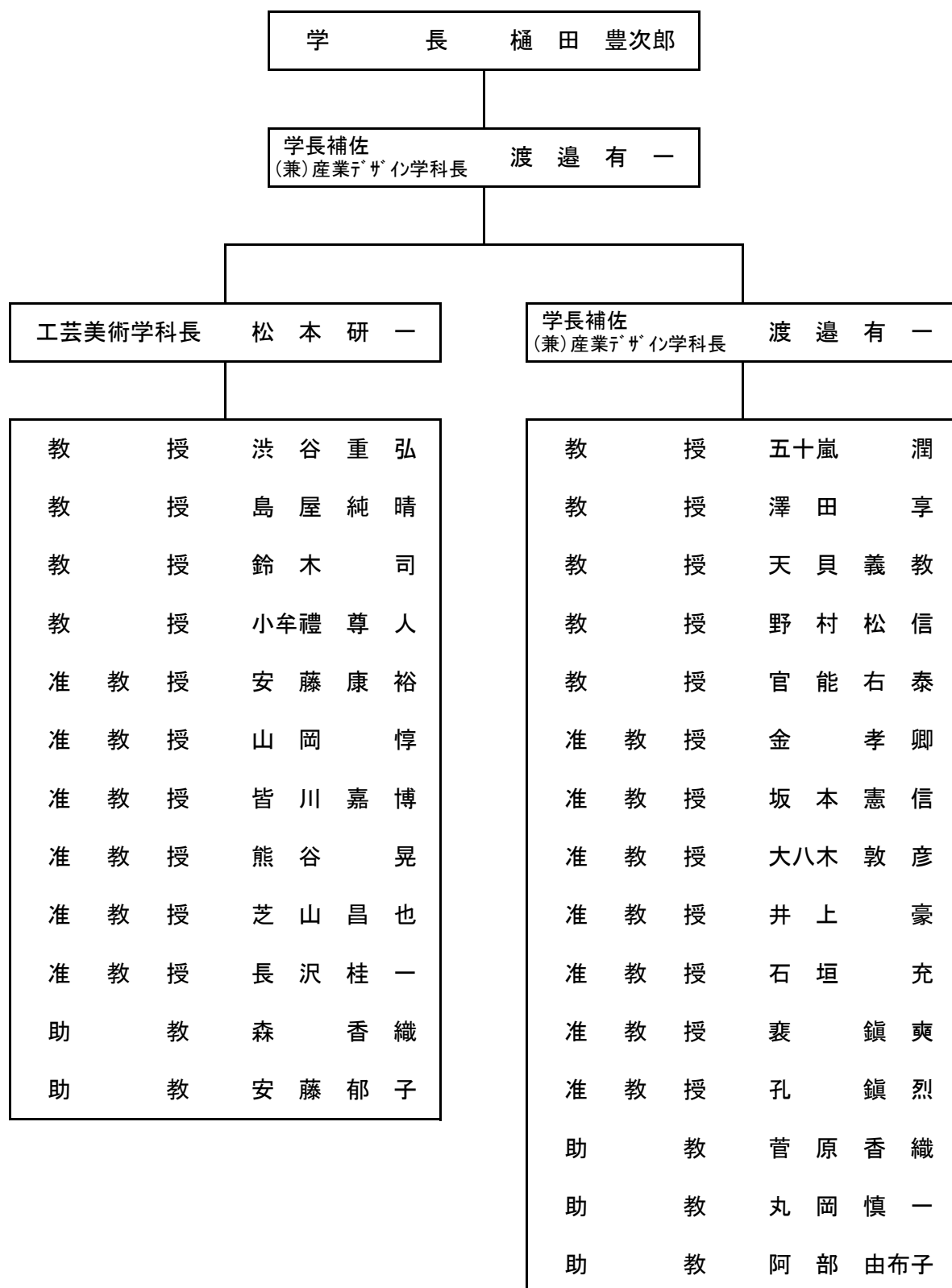
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

月 日	行 事
平成22年	
4月5日	平成22年度入学式（於・本学体育館） 秋田公立美術工芸短期大学後援会総会（於・大会議室）
4月6日	入学ガイダンス
4月8日	前期授業開始
4月11日	開学記念日
4月15日	進路希望調査（2年生、専攻科生対象、2回）
5月17日	公開講座（13回）
5月19日	進路ガイダンス（2年生、専攻科生対象、3回）
5月28日	高校訪問（学生募集）（～8月5日、県内、北海道・東北・新潟県・富山県・東京都）
6月1日	就職支援のための個別面談（2年生、専攻科生対象、2回）
6月30日	就職連絡協議会（2回）
7月6日	就職対策模擬面接（2年生、専攻科生対象、10回）
7月23日	防災訓練
7月26日	進路ガイダンス（1年生、8回）
8月1日	夏季休業（～9月15日） インターンシップ（職場体験プログラム）（1年生対象、2回）
8月9日	進学説明会（県内5回、県外7回）
9月18日	「大学祭」および「ももさだ祭り」（於・本学、アトリエももさだ）
10月5日	学生募集活動（～10月26日、県内各高校）
11月19日	推薦入試、社会人特別選抜（前期）
12月6日	専攻科入試
12月24日	冬季休業（～1月10日）
平成23年	
2月17日	一般入試、大学入試センター利用入試、社会人特別選抜（後期）
3月1日	春季休業（～31日）
3月9日	秋田公立美術工芸短期大学卒業・修了制作展（～13日、於・アトリオン）
3月19日	平成22年度卒業証書・修了証書授与式（大講義室）

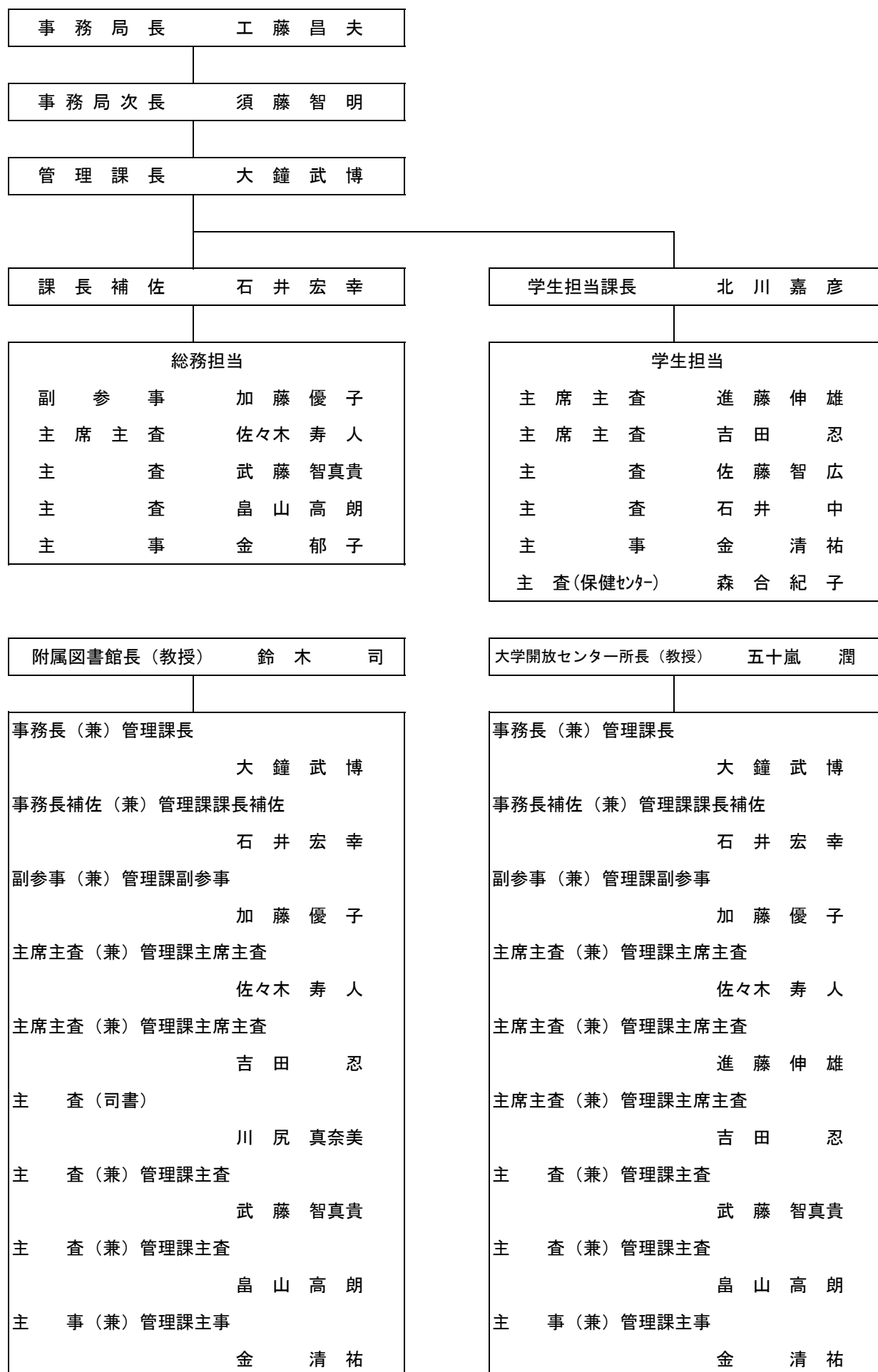
○大学組織（平成23年4月現在）



1 教員（平成23年 4 月現在）



2 事務局・附属図書館・大学開放センター職員



3 各種委員会（平成23年5月現在） ※◎は委員長

役員連絡会

◎ 学長	樋 田 豊次郎
学長補佐	渡 邊 有 一
工芸美術学科長	松 本 研 一
大学開放センター所長	五十嵐 潤
附属図書館長	鈴 木 司
事務局長	工 藤 昌 夫

専門委員会

人事委員会

◎ 学長	樋 田 豊次郎
学長補佐	渡 邊 有 一
工芸美術学科長	松 本 研 一
教授	鈴 木 司
〃	五十嵐 潤
〃	島 屋 純 晴
〃	野 村 松 信

志願者対策委員会

◎ 准教授	熊 谷 晃
教授	島 屋 純 晴
准教授	坂 本 憲 信
助教	阿 部 由布子
学生担当課長	北 川 嘉 彦

入試委員会

◎ 教授	天 貝 義 教
准教授	金 孝 卿
〃	孔 鎮 烈
〃	長 沢 桂 一
助教	安 藤 郁 子

教務委員会

◎ 学長補佐	渡 邊 有 一
教授	渋谷 重 弘
准教授	山 岡 惇
〃	芝 山 昌 也
〃	井 上 豪
〃	裴 鎮 爽

学生生活委員会

◎ 教授	島 屋 純 晴
〃	官 能 右 泰
准教授	大八木 敦 彦
助教	森 香 織

就職対策委員会

◎ 工芸美術学科長	松 本 研 一
教授	小牟禮 尊 人
助教	菅 原 香 織
学生担当課長	北 川 嘉 彦

附属図書館運営委員会

◎ 附属図書館長	鈴 木 司
教授	澤 田 享
〃	野 村 松 信
准教授	安 藤 康 裕

大学開放センター運営委員会

◎ 大学開放センター所長	五十嵐 潤
准教授	皆 川 嘉 博
〃	芝 山 昌 也
〃	石 垣 充 一
助教	丸 岡 慎 一

自己点検・評価委員会

◎ 准教授	山 岡 惇
各委員会委員長	
管理課長	大 鐘 武 博

○平成23年度事業費予算

(単位：千円)

区分	予算額	財源内訳		備 考	
		授業料等	一 般		
総務費	474,861		474,861	人件費	474,861
管理費	271,010	240,748	30,262	短期大学教育設備等整備経費	10,041
				短期大学教員採用経費	250
				短期大学運営費	184,185
				短期大学附属図書館運営費	2,496
				短期大学省エネルギー改修経費	60,711
				短期大学サライセンター整備経費	13,327
教務費	36,011	19,582	16,429	短期大学教務経費	11,038
				就職対策活動経費	5,588
				教員研究及び学生教材経費	18,186
				卒業・修了制作展開催経費	385
				大学入試センター試験関係経費	814
計	781,882	260,330	521,552		

短期大学費の予算とその内訳の推移

(単位：千円)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
歳出	短期大学費	720,211	711,888	715,349	723,719	704,199	781,882
歳入	特定財源	187,255	190,358	191,463	191,190	197,582	260,330
	一般財源	532,956	521,530	523,886	532,529	506,617	521,552
	計	720,211	711,888	715,349	723,719	704,199	781,882

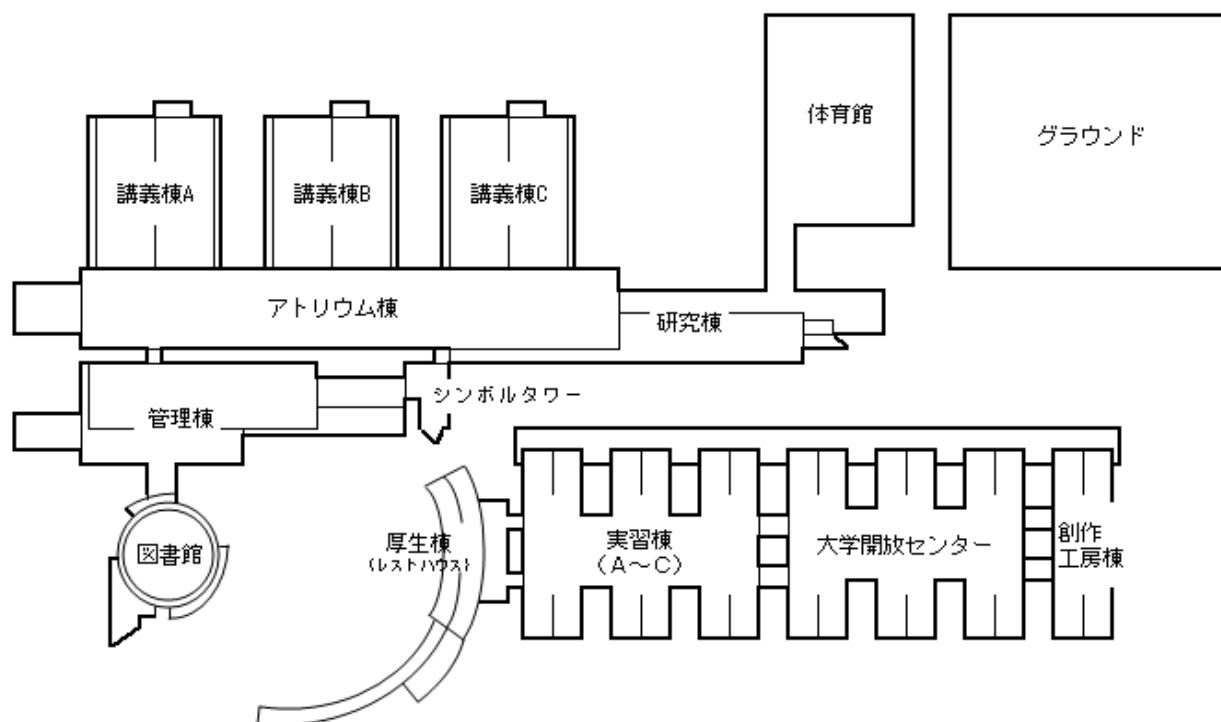
特定財源：授業料、入学料、入学検定料等

○教育施設

1 敷地面積 51,194㎡

2 (1) 建物等関係

施設名	構造	床面積 (㎡)	備 考
管 理 棟	R C - 2 F	1,296.17	学長室、学科長室、事務局長室、事務室、大小会議室、情報センター等
講 義 棟	R C - 2 F	6,471.54	講義棟、演習室、コンピューター室等、アトリウム棟 (高さ15m、長さ92m、幅8m)
研 究 棟	R C - 3 F	1,384.64	教員研究室30室
シンボルタワー	R C - 5 F	449.41	エレベーター
実 習 棟	W - 1 F	2,331.88	旧国立米倉庫全8棟のうち、3棟を実習室として使用
創 作 工 房 棟	W - 1 F	963.24	創作スペース、作品保管庫、ミーティングルーム
附 属 図 書 館	R C - 2 F	1,194.41	蔵書数40,651冊、収容能力10万冊、座席数135席
厚 生 棟	R C - 2 F	878.59	学生食堂128席、売店、教職員ラウンジ
小計		14,969.88	
体 育 館	R C - 2 F	1,113.27	バレーボール2面、バスケットボール1面
大学開放センター	W 1 F (一部2F)	2,582.02	「アトリエももさだ」工芸体験棟、ギャラリー棟、地域交流棟
計		18,665.17	
グ ラ ウ ン ド		7,900.00	



(2) 講義室等関係

講義室

収 容 人 数	30人	35人	45人～60人	100人	180人
室 数	1	1 (CALL室)	2	1	1 (大講義室)

実習室等

工芸美術学科	木材工芸コース	5 室	木工機械室、木工実習室等
	漆工芸コース	4 室	漆実習室、塗装実習室等
	金属工芸コース	8 室	金工機械室、彫金実習室、鋳物実習室等
	染織コース	5 室	織実習室、染色実習室等
	窯芸コース	7 室	陶芸実習室、ガラス加工室、ガラス実習室等
	絵画コース	3 室	絵画実習室等
産業デザイン学科	グラフィックデザイン	2 室	グラフィックデザイン室
	映像デザイン	1 室	コンピュータ室 4
	パッケージデザイン	1 室	パッケージデザイン室
	イラストレーション	1 室	イラストレーション室
	平面構成	1 室	構成室
	ウェブデザイン	1 室	ウェブデザイン室
	インテリア・建築デザイン	1 室	建築デザイン室
	建築史・意匠	1 室	建築史・意匠室
	デザイン計画	1 室	デザイン計画室
	プロダクトデザイン	1 室	プロダクトデザイン室
	公共デザイン	1 室	公共デザイン室
共通使用室	コンピュータ関係	8 室	コンピューター室
	学科共通	7 室	共通デザイン室、彫塑実習室等

○平成23年度入試結果

1 推薦入試

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	40 (16)	43 (9)	1.18	43 (9)	40(9) 【4】	40 (9)	1.07
産業デザイン	60 (16)	100(13)	1.72	100(13)	64(13)	64(13)	1.54
合 計	100 (32)	143(22)	1.50	143(22)	104(22)	104(22)	1.35

※ () は指定校特別推薦の内数

※ 【】 は第2志望学科で合格となった合格者の内数

※志願倍率、受験倍率は社会人特別選抜（前期）を含む

2 社会人特別（前期）

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	若干名	4	推薦を含む	4	4	3	推薦を含む
産業デザイン	若干名	3	推薦を含む	3	3	3	推薦を含む
合 計	若干名	7	推薦を含む	7	7	6	推薦を含む

※募集人員の若干名は推薦入学試験の募集人員を含む

3 社会人特別（後期）

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	若干名	2	一般を含む	2	2	2	一般を含む
産業デザイン	若干名	1	一般を含む	1	1	1	一般を含む
合 計	若干名	3	一般を含む	3	3	3	一般を含む

※募集人員の若干名は一般入学試験の募集人員を含む

4 一般入試

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	16	23	1.56	20	14 【2】	10	1.38
産業デザイン	24	53	2.25	51	26	17	1.93
合 計	40	76	1.98	71	40	27	1.72

※ 【】 は第2志望学科で合格となった合格者の内数

※志願倍率、受験倍率は社会人特別選抜（後期）を含む

5 センター試験利用入試

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	4	8	2.00	7	9 【2】	4	0.78
産業デザイン	6	15	2.50	14	10	4	1.40
合 計	10	23	2.30	21	19	8	1.11

※ 【】 は第2志望学科で合格となった合格者の内数

6 学科合計

学 科	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	60	80	1.33	76	69	59	1.10
産業デザイン	90	172	1.91	169	104	89	1.63
合 計	150	252	1.68	245	173	148	1.42

7 男女別

区 分	志願者	受験者	合格者	入学者	合格者における割合(%)
男	41	39	16	15	9.2
女	211	206	157	133	90.8
合 計	252	245	173	148	100.0

8 現役・非現役別

区 分	志願者	受験者	合格者	入学者	合格者における割合(%)
現 役	219	213	151	129	87.3
浪 人	33	32	22	19	12.7
合 計	252	245	173	148	100.0

※高校卒業程度認定試験合格での受験・合格者は、浪人とした。

9 都道府県別

都道府県名	志願者	受験者	合格者	入学者	都道府県名	志願者	受験者	合格者	入学者
秋 田	110	110	68	62	神奈川	1	1	1	1
うち秋田市内	54	54	35	32	新 潟	7	7	5	4
北海道	12	11	7	6	富 山	5	5	5	2
青 森	28	27	19	17	福 井	1	1	1	1
岩 手	37	36	29	23	静 岡	3	3	3	2
宮 城	9	8	8	7	三 重	1	1	1	1
山 形	11	8	7	6	京 都	1	1	1	1
福 島	6	6	4	4	兵 庫	3	3	3	2
茨 城	4	4	1	0	鳥 取	1	1	0	0
栃 木	1	1	1	1	香 川	1	1	1	1
群 馬	3	3	3	3	長 崎	1	1	1	1
千 葉	3	3	2	1	大 分	1	1	1	1
東 京	1	1	1	1	鹿児島	1	1	0	0
					合 計	252	245	173	148

※高卒者は出身高校の所在地、高校卒業程度認定試験合格者は出願時の住所による。

10 専攻科

専 攻	募集人員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	入学者	受験倍率
工 芸 美 術	10	10	1.00	10	10	10	1.00
産業デザイン	15	7	0.47	7	7	7	1.00
合 計	25	17	0.68	17	17	17	1.00

○卒業生の進路状況（15期生）

（平成23年4月30日現在）

1 進路希望調査状況

（単位；人）

	学 科	卒業者数	就 職 希望者	専攻科	他大学等	一時的な 就職希望者	その他 (未定含む)
工芸美術	工 芸 美 術	5 9	3 8	1 0	5	2	4
	産業デザイン	7 6	5 8	7	1 1	—	—
	小 計	1 3 5	9 6	1 7	1 6	2	4
		(100.0%)	(71.1%)	(12.6%)	(11.8%)	(1.5%)	(3.0%)
産業デザイン	工芸美術	1 1	7	—	4	—	—
	産業デザイン	8	8	—	—	—	—
	小 計	1 9	1 5	—	4	—	—
		(100.0%)	(78.9%)	(0%)	(21.1%)	(0%)	(0%)
	合 計	1 5 4	1 1 1	1 7	2 0	2	4
		(100.0%)	(72.1%)	(11.0%)	(13.0%)	(1.3%)	(2.6%)
		1 5 4	148名 (96.1%)			6名 (3.9%)	

2 学科別出身地別就職決定状況

（単位；人）

学科別	学生別	就職希望者	就職者	決定率	県内出身者で 県内に就職	県内出身者で 県外に就職	県外出身者で 県内に就職	県外出身者で 県外に就職
工芸美術	本科生	3 8	2 4	6 3 . 2 %	1 3	1	2	8
	専攻科生	7	6	8 5 . 7 %	2	0	0	4
	計	4 5	3 0	6 6 . 7 %	1 5	1	2	1 2
産業 デザイン	本科生	5 8	4 3	7 4 . 1 %	1 5	7	7	1 4
	専攻科生	8	7	8 7 . 5 %	3	1	1	2
	計	6 6	5 0	7 5 . 6 %	1 8	8	8	1 6
	合 計	1 1 1	8 0	7 2 . 1 %	33 (41.3%)	9 (11.3%)	10 (12.5%)	28 (3.5%)

3 業種別就職決定状況（産業中分類）

（単位；人）

大分類区分	大分類小計	中分類区分	就職 決定者	企業所在地別			男女別	
				市内	県内	県外	男	女
建設業	2	総合工事業	2	1		1		2
製造業	8	家具・装備品製造業	1		1			1
		木材・木製品製造業（家具を除く）	1		1			1
		繊維工業	2			2		2
		食料品製造業	1			1		1
		電気機械器具製造業	1			1		1
		その他の製造業	2		1	1		2
情報通信業	2	映像・音声・文字情報制作業	2	1		1		2
卸売・小売業	2 0	機械器具小売業	1			1		1
		各種商品小売業	1 3	7		6	1	1 2
		織物・衣服・身の回り品小売業	2		1	1		2
		飲食料品小売業	4	1		3		4

学術研究、専門・技術サービス業	19	専門サービス業	15	8	2	5	2	13
		技術サービス業	4	1	1	2	2	2
宿泊業、飲食サービス業	7	飲食店	7	5	1	1	2	5
生活関連サービス業、娯楽業	7	その他の生活関連サービス業	7	4		3	1	4
教育、学習支援業	3	学校教育	2			2		2
		その他の教育、学習支援業	1		1			1
医療、福祉	3	医療業	3		1	2	1	2
複合サービス事業	1	協同組合	1			1		1
公務	8	地方公務	8	5	2	1	1	7
	80	合 計	80	33	12	35	10	70

卒業後の主な就職先・進学先

（就職先）ノリット・ジャポン、J-one、秋田木工、こどもの館、花巻農業協同組合、臥牛三敬会、大栄木工、マゼンタ、わらび座、スペースプロジェクト、和光技研、アジタス、ヨドバシカメラ、モリタ ほか

（進学・編入学先）札幌市立大学、女子美術大学、東京造形大学、横浜美術大学、東北芸術工科大学、武蔵野美術大学、代々木アニメーション学院、富山ガラス造形研究所、山梨県立宝石美術専門学校、香川県漆芸研究所、 ほか